



QNAP

QHora-321

ユーザーガイド

目次

1. 製品概要	
QHora-321 について.....	4
ハードウェア仕様.....	4
ソフトウェア仕様.....	5
パッケージ内容.....	6
コンポーネント.....	6
フロントパネル.....	7
リアパネル.....	7
安全情報.....	8
2. インストールとアクセス	
インストール要件.....	9
ルーターを設定する.....	9
インターネットにルーターを接続する.....	9
ルーターアクセス.....	11
デフォルトのルーター IP アドレス.....	11
ブラウザを使用してルーターにアクセスする.....	11
Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする.....	12
3. 基本操作	
LED.....	13
リセットボタン.....	14
4. QuRouter	
QuRouter について.....	15
システム要件.....	15
はじめに.....	15
QuRouter の設定.....	16
ルーターと QNAP ID の紐付け.....	17
QNAP ID からルーターの紐付けを解除する.....	18
5. QuRouter ナビゲーション	
タスクバー.....	19
ダッシュボード.....	20
6. システム構成	
システム.....	21
システム設定.....	21
イベントログを管理する.....	23
ファームウェア.....	24
ライブ更新の確認.....	24
ファームウェアの手動更新.....	24
7. ネットワーク設定	
ネットワーク.....	26
ワイドエリアネットワーク (WAN) インターフェイスを設定する.....	26
ローカルエリアネットワーク (LAN) インターフェイスを設定する.....	28
ネットワーク上の他の QNAP デバイスの場所を検索する.....	30
VLAN.....	30
ブリッジ接続の設定.....	36

DHCP IP アドレス予約の管理.....	38
静的ルート.....	38
クライアント.....	40
デバイスをブロックリストに追加する.....	41
デバイスをブロックリストに設定する.....	41
デバイスをブロック済リストから削除する.....	42
SD-WAN.....	42
QuWAN について.....	42
QuWAN の設定.....	42
QuWAN Orchestrator にアクセスする.....	43
QuWAN QBelt VPN サーバーを設定する.....	44
QVPN.....	45
QVPN サーバーの設定.....	45
QVPN クライアント設定.....	50
QVPN ログの管理.....	51
サービスポート管理.....	52
カスタムサービスポートを追加.....	52
カスタムサービスポートを削除する.....	52
DDNS 設定.....	53
DDNS (My DDNS) 設定を行う.....	53
DDNS ドメイン名を変更する.....	53

8. セキュリティ設定

ファイアウォール.....	55
ファイアウォールルールの追加.....	55
ファイアウォールルールの設定.....	56
ファイアウォールルールの削除.....	57
ネットワークアドレストランスレーション (NAT).....	57
アプリケーションレイヤゲートウェイ (ALG).....	57
ポートフォワーディング.....	57
非武装地帯 (DMZ).....	58
Web コンテンツフィルタリング.....	59
Web コンテンツフィルタリングルールを追加する.....	59
Web コンテンツフィルタリングルールを設定する.....	60
Web コンテンツフィルタリングルールを削除する.....	60
デバイスを Web コンテンツフィルタリングルールに追加する.....	61
Web コンテンツフィルタリングの役割からデバイスを削除する.....	61
サービス品質 (QoS).....	61
QuWAN Orchestrator で QoS を設定する.....	61

9. トラブルシューティング

サポートおよびその他のリソース.....	64
Ping ユーティリティでネットワークの接続をテストする.....	64
Traceroute ユーティリティでネットワークの接続をテストする.....	64
ルーターの問題を解決するために、QNAP リモートサポートを利用する.....	65

10. 用語集

myQNAPcloud.....	67
QNAP ID.....	67
Qfinder Pro.....	67
QuRouter.....	67
QuWAN.....	67
QuWAN Orchestrator.....	67

11. 注意

限定保証.....	68
-----------	----

免責事項.....	68
CE 通知.....	68
FCC 通知.....	69
Radio Equipment Directive (RED) 2014/53/EU Article 10.....	69
EU RoHS ステートメント.....	70
ISED 準拠ステートメント.....	70
放射線曝露ステートメント.....	70
UKCA 通知.....	70

1. 製品概要

この章では、QNAP NAS デバイスに関する基本的な情報について説明します。

QHora-321 について

QHora-321 は、2.5GbE ポート 6 個を有線接続し、エンタープライズレベルのメッシュ VPN ネットワークを構成することが可能です。QNAP デバイスにルーターを装備することで、安全なデータ転送を実現し、サイバー攻撃のリスクを軽減します。このルーターは、VPN の展開をサポートするため組み込みの SD-WAN 技術が特長です。このルーターは、QNAP のソフトウェア定義 WAN (SD-WAN) 技術である QuWAN を用いてハブまたはエッジとして展開できます。

ハードウェア仕様



警告

お使いの QNAP 製品にハードウェア上の欠陥がある場合は、メンテナンスまたは交換を行うために QNAP または QNAP 認定サービスセンターに返品してください。ユーザーまたは認定されていないサードパーティが製品の修理やメンテナンスを行うと、保証が利用できなくなります。

QNAP は、無断改変およびサポートされていないサードパーティ製アプリケーションのインストールに起因する損害やデータ損失の責任を負いません。

詳細については、「[QNAP 保証利用規約](#)」をご覧ください。



ヒント

モデルの仕様は、事前の予告なしで変更することがあります。最新の仕様については、<https://www.qnap.com> をご覧ください。

コンポーネント	QHora-321
プロセッサ	
CPU	Marvell® CN9130
頻度	4 コア 2.2 GHz
アーキテクチャ	Armv8 Cortex-A72
メモリ	4GB DDR4
フラッシュメモリ	4 GB eMMC
ネットワーク	
ギガビットネットワークインターフェース	6 x 2.5 GbE RJ45 (100M/1G/2.5G)
最大電源消費	36 W
インターフェイス	
ボタン	リセット
寸法	
寸法 (H x W x D)	166.4 x 145.7 x 29.85 mm (6.55 x 5.73 x 1.17 インチ)
正味重量	0.81 kg (1.78 lbs)
その他	
動作温度	0°C~40°C (32°F~104°F)
相対湿度	非結露、相対湿度：5% から 95%

ソフトウェア仕様

仕様	説明
システムステータスと管理	<ul style="list-style-type: none"> • 接続されているデバイス • デバイスの接続状態 • WAN 状態 • ファームウェアスケジュール管理
有線ネットワーク管理	<ul style="list-style-type: none"> • 物理インターフェースの管理 • WAN インターフェイス設定 <ul style="list-style-type: none"> • WAN ポート • VLAN • LAN インターフェイス設定 <ul style="list-style-type: none"> • LAN ポート • VLAN • ブリッジ • ネットワークポート接続状態 • VLAN 構成 • DHCP サーバーの設定 • IPv4/IPv6 ルーティングと静的ルートテーブル • 動的 DNS (DDNS) の設定
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> • プロトコルベースのファイアウォール (TCP、UDP、ICMP、TCP+UDP) • ドメイン名と IP アドレスに基づくファイアウォールルール • IP アドレスベースのファイアウォールルール設定 • ネットワークアドレストランスレーション (NAT) とポートフォワードリング • FTP アプリケーションレベルゲートウェイ (ALG)、PPTP ALG、SIP ALG に対応 • 非武装地帯 (DMZ)

仕様	説明
VPN	<ul style="list-style-type: none"> • L2TP、OpenVPN、QBelt (QNAP 独自の VPN) 、WireGuard プロトコルを用いたリモートアクセスサポート • クライアント IP プール管理 • VPN クライアント管理 • 接続ログ • 最大 VPN トンネル：30 (QuWAN と QVPN 接続を含む) • OpenVPN プロトコルを使用した VPN クライアントとして安全なリモートアクセス
アクセス制御	DNS (ドメインネームシステム) フィルタリング、コンテンツフィルタリング
システム設定	<ul style="list-style-type: none"> • バックアップと復元の設定 • 設定のリセットと再起動 • オーディオアラート管理 • ローカルアカウント、QNAP ID、リモート管理 • イベントログ
QuWAN	<ul style="list-style-type: none"> • マルチサイト VPN 自動構成 • WAN 最適化 <ul style="list-style-type: none"> • WAN アグリゲーション • フェールオーバー • 負荷分散 • QuWAN Orchestrator による SD-WAN 管理およびトラフィックモニタリング • サービス品質 (QoS) 管理 • 最大 VPN トンネル：30 (QuWAN と QVPN 接続を含む) • 50,000 最大同時接続

パッケージ内容

項目	数量
QHora-321 ルーター	1
電源コード	1
クイックインストールガイド (QIG)	1

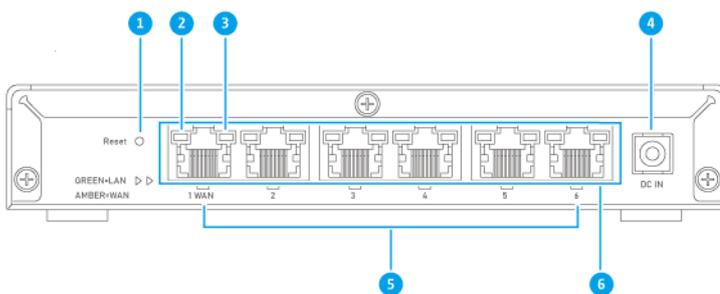
コンポーネント

フロントパネル



番号	コンポーネント	番号	コンポーネント
1	電源 LED	3	QuWAN Orchestrator ステータス
2	システムステータス LED	4	自動メッシュ接続ステータス

リアパネル



番号	コンポーネント	番号	コンポーネント
1	リセットボタン	4	電源入力
2	2.5 ギガビットイーサネット LED (2.5 Gbps スピード)	5	2.5 ギガビットイーサネットポート (RJ45)

番号	コンポーネント	番号	コンポーネント
3	2.5 ギガビットイーサネット LED (1 Gbps または 100 Mbps スピード)	6	WAN および LAN LEDs

安全情報

以下の説明では、人の安全と環境の安全を確立するためのものです。操作を開始する前に、これらの指示に慎重にしたがってください。

一般的な説明

- デバイスは、安全な場所に保管し、ツール、ロック、キー、その他セキュリティ手段の使用から制御される必要があります。
- すべての制限、安全措置、取り付けおよびメンテナンス手順の知識する、有資格の訓練を受けた認定の管理者のみがデバイスに物理的にアクセスできる必要があります。
- けがやコンポーネントへのダメージを避けるためにも、手を触れる前に、ドライブやその他内部システムコンポーネントが冷めていることを確認してください。
- ケガに注意し、コンポーネントを傷つけないように、静電放電 (ESD) 手順を守ってください。

電源

- 火災や感電のリスクを低減させるためにも、適切に接地した電源コンセントにのみ電源コードを接続してください。



冗長電源ユニットのあるデバイスには、1つ以上の電源ユニット (PSU) コードが含まれていることがあります。深刻な損傷を避けるためにも、システムのコンポーネントの取付または交換を行う前に、訓練を受けたサービステクニシャンがすべての PSU コードをデバイスから取り外す必要があります。

2. インストレーションとアクセス

この章では、特定のハードウェアのインストレーションとルーターのアクセス手順について説明します。

インストール要件

カテゴリー	項目
環境	<ul style="list-style-type: none"> 室温：0°C～40°C (32°F～104°F) 非結露、相対湿度: 5%～95% 湿球温度：27°C (80.6°F) 平坦で直射日光、液体、化学薬品に曝されない帯電防止面
ハードウェアおよび周辺機器	ネットワークケーブル
ツール	静電気防止用手首バンド

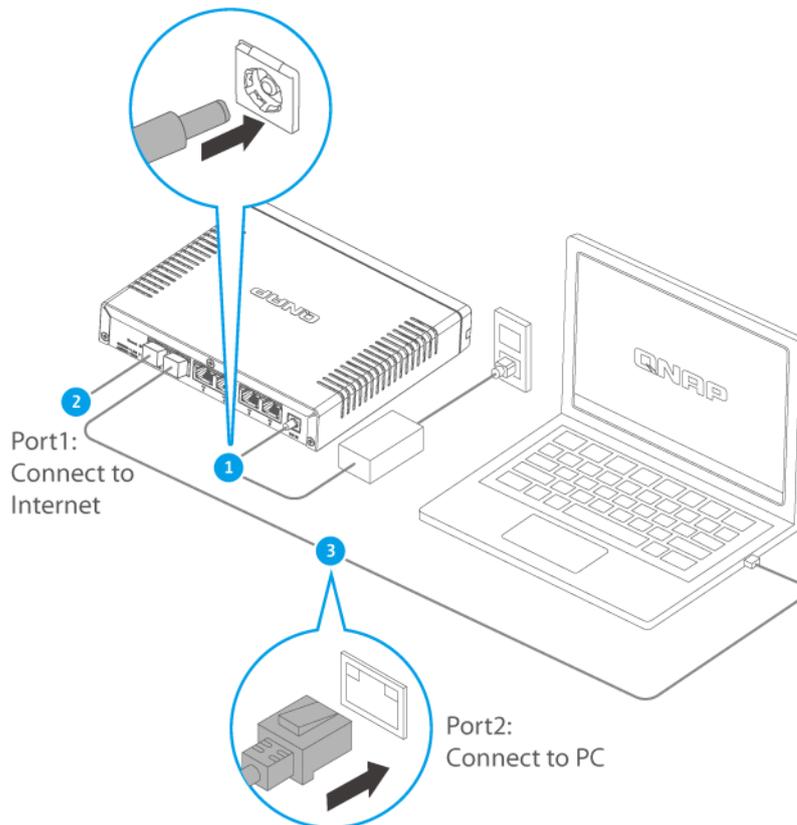
ルーターを設定する

- お使いのルーターは、要件を満たした環境に設置してください。
詳細は、[インストール要件](#)をご覧ください。
- ルーターの電源を入れます。
詳細は、[リアパネル](#)をご覧ください。
- 電源 LED が黄緑色で、システムステータス LED がオレンジ色であることを確認します。
詳細は、[LED](#)をご覧ください。
- ルーターをネットワークおよびコンピューターに接続します。
詳細は、[インターネットにルーターを接続する](#)をご覧ください。
- WAN インターフェースの LED がオレンジ色、LAN インターフェースの LED が緑色に点灯していることを確認します。
詳細は、[LED](#)をご覧ください。
- ローカルアカウントの資格情報または QNAP ID で QuRouter にログオンします。
詳細は、[ルーターと QNAP ID の紐付け](#)をご覧ください。

インターネットにルーターを接続する

- ルーターを電源に接続します。
 - 電源コンセントに電源コードをつなぎます。
 - 電源コンセントに電源アダプターをつなぎます。
 ルーターの電源がオンになります。
- ルーターをインターネットに接続します。
 - イーサネットケーブルをルーターの WAN ポートに接続します。
 - イーサネットケーブルの反対側を ISP ゲートウェイまたはモデムに接続します。
- ルーターをコンピューターに接続します。

- a. イーサネットケーブルをルーターの LAN ポートに接続します。
- b. イーサネットケーブルの反対側をコンピューターのイーサネットポートに接続します。



重要

QuRouter にアクセスするための IP アドレスは、どのルーターポートがコンピューターに接続されているかによって変わります。画像では、ポート 2 の LAN1 インターフェイスにコンピューターが接続されています。QuRouter にアクセスするには、ブラウザのアドレスバーに 192.168.100.1 を入力する必要があります。詳細は、[デフォルトのルーター IP アドレス](#) をご覧ください。

4. ルーターがコンピューターに認識されていることを確認します。
 - a. ホストコンピューターで Qfinder Pro を開きます。



注

Qfinder Pro をダウンロードするには <https://www.qnap.com/utilities> に進んでください。

- b. 一覧からそのルーターを見つけます。
5. コンピューター上の Web ブラウザーを開きます。

6. QuRouter の Web インターフェイスにアクセスするためのルーターポート IP アドレスを入力します。
7. インストールガイドに従って、QNAP ルーターの初期設定を行います。

ルーターアクセス

方法	説明	要件
Web ブラウザ	<p>次の情報があれば、同じネットワーク上のどのコンピューターからでもデバイスにアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ルーター IP アドレス • 正規ユーザーアカウントのログイン資格情報 <p>詳細は、ブラウザーを使用してルーターにアクセスする をご覧ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターと同じネットワークに接続されたコンピューター • Web ブラウザ
Qfinder Pro	<p>Qfinder Pro は、特定のネットワーク上にある QNAP デバイスを見つけ、アクセスできるようにするデスクトップユーティリティです。このユーティリティは、Windows、macOS、Linux、Chrome OS をサポートします。</p> <p>Qfinder Pro をダウンロードするには https://www.qnap.com/utilities に進んでください。</p> <p>詳細は、Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする をご覧ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターと同じネットワークに接続されたコンピューター • Web ブラウザ • Qfinder Pro

デフォルトのルーター IP アドレス

最初の 2.5GbE ポートは、アウトバウンド接続を行うための指定 WAN インタフェイスです。QuRouter にアクセスするには、ブラウザのアドレスバーに LAN インタフェイスのデフォルト IP アドレスを入力する必要があります。

デフォルトでは、ポートにバインドされている各 LAN インターフェイスには、以下のような固有の IP アドレスが割り当てられています。

インターフェイス名 (ポート番号)	IP アドレス
LAN1 (ポート 2)	192.168.100.1
LAN2 (ポート 3)	192.168.101.1
LAN3 (ポート 4)	192.168.102.1
LAN4 (ポート 5)	192.168.103.1
LAN5 (ポート 6)	192.168.104.1

ブラウザーを使用してルーターにアクセスする

IP アドレスと正しいユーザーアカウントのログイン資格情報を知っている場合は、ネットワーク上のコンピューターを使用してルーターにアクセスできます。



注
ルーターの IP アドレスを見つけるには、Qfinder Pro を使用します。

1. お使いのコンピューターがルーターと同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. コンピューター上のウェブブラウザを開きます。
3. アドレスバーにルーターの IP アドレスを入力します。
QuRouter の Web インターフェイスページが現れます。
4. デフォルトのユーザー名とパスワードを指定します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	QuRouter: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字によるルーターの MAC アドレス。  ヒント たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。

5. **[ログイン]** をクリックします。
QuRouter ダッシュボードページが表示されます。

Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする

Qfinder Pro は、特定のネットワーク上にある QNAP デバイスを見つけ、アクセスできるようにするデスクトップユーティリティです。このユーティリティは、Windows、macOS、Linux、Chrome OS をサポートします。

1. ルーターと同じネットワークに接続されているコンピューターに Qfinder Pro をインストールします。
Qfinder Pro をダウンロードするには <https://www.qnap.com/utilities> に進んでください。
2. Qfinder Pro を開きます。
Qfinder Pro はネットワーク上のすべての QNAP デバイスを自動的に検索します。
3. 一覧の中からルーターを探してから、その名前か IP アドレスをダブルクリックします。
デフォルトの Web ブラウザーページが開きます。
4. デフォルトのユーザー名とパスワードを指定します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	QuRouter: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字によるルーターの MAC アドレス。  ヒント たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。

5. **[ログイン]** をクリックします。
ホームページが表示されます。

3. 基本操作

この章は、デバイスの基本的な操作方法について解説します。

LED

LED は、ルーター電源、ネットワークポート、システムステータスの全体的な状態を示します。



注

- ・ フロントパネルの LED は、リセット処理中も点灯したままです。
- ・ デフォルトの WAN インターフェイス指定は、ポート番号 1 に割り当てられています。

LED	状態	説明
電源	黄緑色	ルーターの電源がオンの状態です。
	オフ	ルーターの電源が切れています。
	システムステータス LED とともに、1 秒ごとに黄緑色に点滅します	システムエラーが発生しました。
システムステータス	オレンジ	ルーターの電源がオンで初期化しています。
	1 秒ごとにオレンジに点滅します	ルーターを初期化しています。
	電源 LED とともに、1 秒ごとにオレンジに点滅します	システムエラーが発生しました。
	2 秒ごとにオレンジが点滅します	ファームウェアが更新されています。
	オフ	ルーターの電源が切れています。
QuWAN Orchestrator ステータス	青-緑	ルーターは QuWAN Orchestrator のトポロジーに参加し、SD-WAN ネットワークに接続されています。
	0.5 秒ごとに青-緑が点滅します	ルーターは、QuWAN Orchestrator SD-WAN ネットワークに参加しています。
	2 秒ごとに青-緑が点滅します	ルーターが QuWAN Orchestrator SD-WAN ネットワークへの接続を失っています。
	オフ	ルーターは QuWAN Orchestrator の SD-WAN ネットワークの一部ではありません。
自動メッシュ接続ステータス	白	接続済み：QuWAN Orchestrator の SD-WAN ネットワーク上でデバイスが確立したすべてのメッシュ VPN トンネルにアクセスできます。
	2 秒ごとに白に点滅	一部接続済み：QuWAN Orchestrator の SD-WAN ネットワーク上でルーターが確立したメッシュ VPN トンネルのうち、ほとんどがアクセスできません。
	オフ	ルーターは QuWAN Orchestrator の SD-WAN ネットワークの一部ではありません。
2.5 ギガビットイーサネット (2.5 Gbps スピード)	緑色	ネットワーク接続は 2.5 Gbps で動作しています。
	緑の点滅	データ送信中です。
	オフ	ネットワーク接続がありません。

LED	状態	説明
2.5 ギガビットイーサネット (1 Gbps または 100 Mbps スピード)	オレンジ	ネットワーク接続は 1 Gbps または 100 Mbps で動作しています。
	オレンジの点滅	データ送信中です。
	オフ	ネットワーク接続がありません。
2.5 ギガビットイーサネット WAN	オレンジ	WAN 接続が確立されました。
2.5 ギガビットイーサネット LAN	緑色	LAN 接続が確立されました。

リセットボタン

QNAP ルーターは、デバイスの背面側にあるリセットボタンを用い、工場出荷時の設定に戻すリセットが可能です。

コンポーネントの配置に関する詳細は、デバイスの背面側をご覧ください。

操作	ユーザーの操作	結果
リセット	ボタンを 10 秒間押し続けます	ルーターがリセットされ、すべてのデフォルト設定が復元されます。これは、静的に割り当てられた IP アドレス情報、WAN および LAN の設定、セキュリティ設定を消去します。 ルーターは、QNAP ID との紐付けが切れます。

4. QuRouter

QuRouter について

QuRouter は、QNAP ルーターに付属する集中化管理インタフェースで、Web ブラウザーからルーターの IP アドレスを指定してアクセスできます。その直感的なインタフェースで、QuRouter によってルーターの機能のセットアップや、セキュリティ、設定が簡単に行なえます。

システム要件

カテゴリ	詳細
ハードウェア	QNAP ルーター
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザー: <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Edge 42 またはそれ以降 • Mozilla Firefox 60.0 またはそれ以降 • Apple Safari 11.1 またはそれ以降 • Google Chrome 70.0 またはそれ以降 • Qfinder Pro 6.9.2 またはそれ以降

はじめに

1. ローカルアカウントの資格情報または QNAP ID で QuRouter にログインします。
詳細は、[ルーターと QNAP ID の紐付け](#) をご覧ください。
2. ネットワーク設定を行います。
詳細は、[ネットワーク設定](#) をご覧ください。
3. システム設定を行います。
詳細は、以下のトピックをご覧ください。
 - [デバイス名を編集する](#)
 - [アクセス制御の設定](#)
 - [再起動、リセット、バックアップ、復元](#)
 - [オーディオアラート設定を有効にする](#)
4. QVPN 設定を行います。
詳細は、以下のトピックをご覧ください。
 - [QVPN ユーザーの追加](#)
 - [QBelt VPN サーバーを有効にする](#)
 - [L2TP VPN サーバーを有効にする](#)
 - [OpenVPN VPN サーバーを有効にする](#)

QuRouter の設定

このセクションでは、初期セットアッププロセスにおいて Web 管理インターフェイスを用いてルーターを設定する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを開きます。
2. アドレスバーにネットワークインターフェイスのデフォルト IP アドレスを入力します。



重要

QuRouter にアクセスするための IP アドレスは、どのルーターポートがコンピューターに接続されているかによって変わります。

詳細は、[デフォルトのルーター IP アドレス](#) をご覧ください。

QuRouter ログイン画面が表示されます。

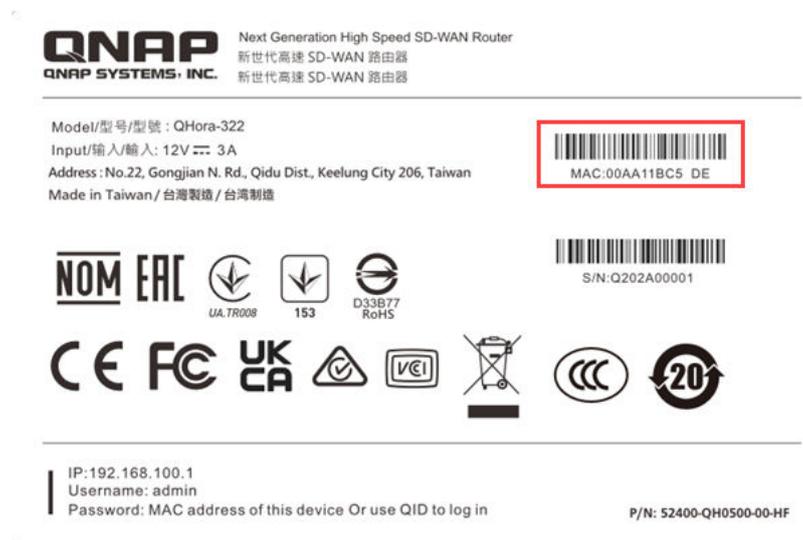
3. あるいは、Qfinder Pro を使用して一覧の中からルーターを見つけます。
4. 名前または IP アドレスをダブルクリックします。
スマートインストールガイドページが表示されます。
5. **[開始]** をクリックします。
ローカルアカウントパスワードページが表示されます。
6. このローカルアカウントに新しいパスワードを指定します。



注

デフォルトのパスワードは、区切り文字を入れず、アルファベット大文字にしたルーターの MAC アドレスです。

たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。



MAC は、デバイス底面のアセットタグ上にあります。

7. **[次へ]** をクリックします。
ドメイン選択ページが表示されます。
8. 次からドメインを選択します。

- 全世界

- 中国

9. **[次へ]** をクリックします。
WAN 設定ページ表示されます。
10. 次の WAN インターフェイス設定のうち 1 つを選択してください。

設定	説明
DHCP	DHCP から自動で IP アドレス設定を取得する
静的 IP	静的 IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • サブネットマスク • DNS サーバー
PPPoE	PPPoE (イーサネットを経由したポイント・ツー・ポイントプロトコル) のユーザー名とパスワードを指定するにはこのオプションを選択します。

11. **[適用]** をクリックします。
12. ファームウェアを最新バージョンに更新します。
詳細は、[ファームウェア](#)のセクションをご覧ください。
13. **[適用]** をクリックします。
14. デフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	QuRouter: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字によるルーターの MAC アドレス。  ヒント たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。MAC アドレスは、デバイス背面側のアセットタグ上にあります。

15. **[ログイン]** をクリックします。
ローカルアカウントウィンドウが開きます。
16. 任意: ご自身の QNAP ID とパスワードを使って QuRouter にログインできます。
詳細は、[ルーターと QNAP ID の紐付け](#)をご覧ください。
17. ローカルアカウントのユーザー名とパスワードを再入力するか変更します。
18. **[OK]** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

QuRouter が設定を保存します。

ルーターと QNAP ID の紐付け

1. QNAP ID とパスワードで QuRouter にログインします。

**注**

新しい QNAP アカウントを作成するには、**[アカウントの作成]** をクリックします。

2. **[ログイン]** をクリックします。
ローカルアカウントウィンドウが開きます。
3. 2段階認証を完了するには、ローカルアカウントの資格情報を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。
QuRouter ダッシュボードが開き、**デバイス名の編集**ウィンドウが開きます。
5. 3~15文字のアルファベットでデバイス名を指定します。
6. **[OK]** をクリックします。

ルーターが QNAP ID に紐付けられます。

QNAP ID からルーターの紐付けを解除する

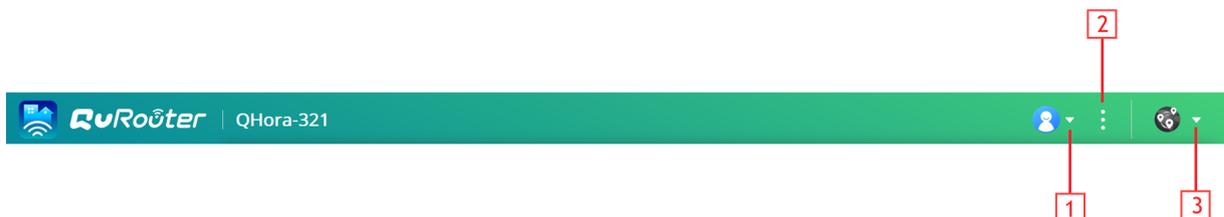
1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[アクセス制御]** > **[管理者]** に進みます。
3. **[QNAP ID を解除]** の下の  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。

**注**

ルーターと QNAP ID との紐付けが解除され、QuRouter からログアウトされます。

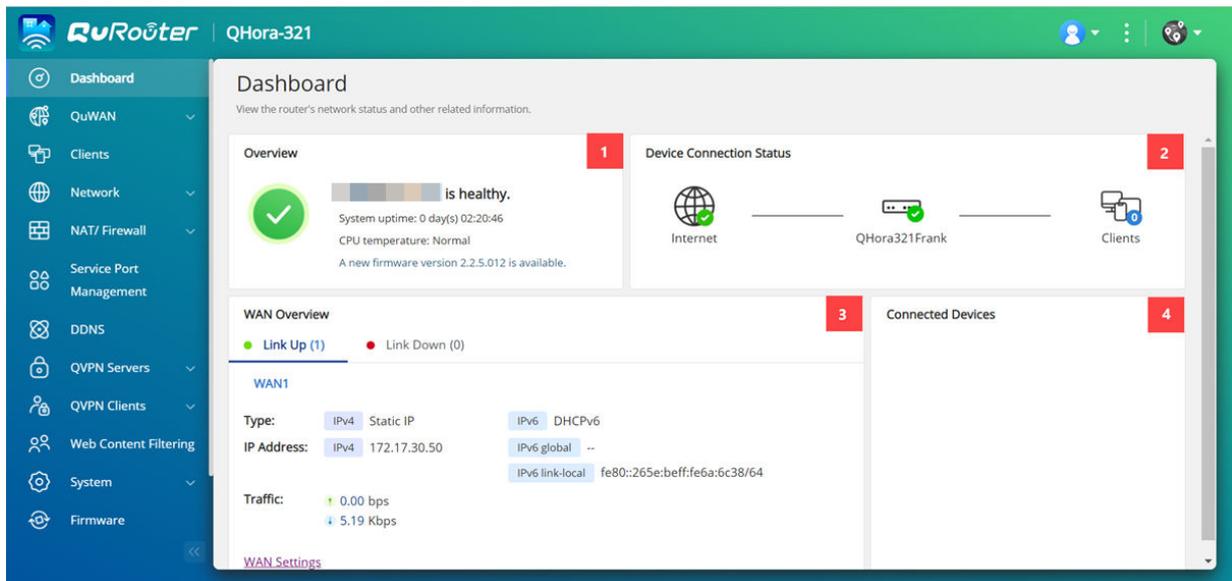
5. QuRouter ナビゲーション

タスクバー



番号	要素	ユーザー操作
1	[USER_NAME]	ログアウト：現在のセッションからユーザーをログアウトします
2	その他	<p>ボタンを押して以下のメニュー項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 言語：サポートされている言語の一覧が開き、オペレーティングシステムの言語を変更できます。 • ドメイン設定：クリックしてドメインを変更します。 <p>注 このルーターが以前 QuWAN ネットワークに追加されていた場合、ドメインを変更することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バージョン情報：以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • オペレーティングシステム • ハードウェアモデル • ファームウェアバージョン • QNAP リモートサポート：クリックしてサポートチケットを作成し、QNAP カスタマーサービスチームに連絡します。 詳細は、ルーターの問題を解決するために、QNAP リモートサポートを利用する をご覧ください。
3	QuWAN	<p>ボタンを押して QuWAN 関連の情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • QuWAN Orchestrator の接続状態 • 組織 • QuWAN 設定 • QuWAN Orchestrator にリンク

ダッシュボード



番号	セクション	表示される情報	ユーザー操作
1	概要	<ul style="list-style-type: none"> システム稼働時間（日、時間、分、秒） CPU 温度 ファームウェア情報 	-
2	デバイスの接続状態	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの状態 デバイスの状態 接続クライアント数 	-
3	WAN の概要	<ul style="list-style-type: none"> リンクアップ、リンクダウン情報 接続タイプ IP アドレス情報 トラフィック情報 	[WAN 設定] をクリックすると、[ネットワーク] > [物理インターフェイス設定] が表示されます。
4	接続されているデバイス	接続されている QNAP デバイスの名前	[接続されている QNAP デバイス] をクリックして、同じネットワークサブネット上の QNAP デバイスを表示します。

6. システム構成

システム

システム設定

デバイス名を編集する

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [システム設定] > [デバイス名の設定] に進みます。
3.  をクリックします。
デバイス名の編集ウィンドウが開きます。
4. デバイス名は次のグループの中から 3~15 文字を含む必要があります。
有効な文字：A~Z、a~z、0~9
5. [OK] をクリックします。

QuRouter がデバイス名を更新します。

再起動、リセット、バックアップ、復元

QuRouter システム設定は、ルーターの再起動、リセット、バックアップ、復元動作を遠隔から制御できません。

ルーターの再起動

1. [システム] > [システム設定] > [再起動/リセット/バックアップ/復元] に進みます。
2. [再起動] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
3. [OK] をクリックします。

QuRouter はデバイスを再起動します。

ルーターをリセットする

1. [システム] > [システム設定] > [再起動/リセット/バックアップ/復元] に進みます。
2. [リセット] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
3. [同意する] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

QuRouter は、デバイスをデフォルト設定にリセットし、ルーターは QNAP ID との紐付けが切れます。

システム設定のバックアップ

1. [システム] > [システム設定] > [再起動/リセット/バックアップ/復元] に進みます。
2. [バックアップ] をクリックします。

このデバイスは、システム設定を BIN ファイルとしてエクスポートし、そのファイルをコンピューターにダウンロードします。

システム設定の復元



警告

選択したバックアップファイルにデバイス上にすでに存在するユーザーまたはユーザーグループの情報が含まれている場合、システムは重複情報を上書きします。

1. [システム] > [システム設定] > [再起動/リセット/バックアップ/復元] に進みます。
2. [復元] の下で [参照] をクリックします。
ファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。
3. デバイスシステム設定を含む正しい BIN ファイルを選択します。
4. [復元] をクリックします。

QuRouter はルーター設定を復元します。

オーディオアラート設定を有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [システム設定] > [オーディオアラート] に進みます。

3.



をクリックします。

QuRouter がルーターのオーディオアラートを有効にします。

アクセス制御の設定

アクセス制御設定は、デバイスがルーターにどのように接続されるかを制御します。これらの設定により、ネットワークセキュリティを高め、セキュリティ上の脅威を最小化します。

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [アクセス制御] > [アクセス制御設定] に進みます。
3. アクセス制御設定を有効にします。

設定	ユーザーのアクション
HTTP によるローカル管理	<p>有効にすることで、HTTPS でない接続でルーターのウェブインターフェイスにリモートアクセスできます。</p> <p> 注 HTTP 接続は、Hypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS) よりも高速ですが、送信内容は暗号化されません。</p>
遠隔管理	<p>有効にすることで、管理者は WAN IP アドレスでルーターのウェブインターフェイスにリモートアクセスできます。</p>

ローカルアカウントの設定



注

デフォルトのルーターアカウントは管理者アカウントです。管理者アカウントは削除できません。

1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[アクセス制御]** > **[管理者]** に進みます。
3.



 ローカルアカウント下にある  をクリックします。
ローカルアカウントウィンドウが開きます。
4. ローカルアカウントの設定。

説明	ユーザー操作
新しいユーザー名	5~32 文字でユーザー名を指定します。 有効な文字：A-Z、a-z、0-9
現在のパスワード	ローカルアカウントの現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	8~64 の ASCII 文字を含むパスワードを入力します。
新しいパスワードの確認 入力	パスワードをもう一度入力します。

5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がローカルアカウント設定を更新します。

イベントログを管理する

ルーターに関連するイベントログのレコードを表示するには、**[システム]** > **[イベントログ]** に進みます。共通のイベントとしては、ネットワークサービスの有効化や無効化、アカウントとシステム設定、セキュリティ設定があります。

System / Event Logs
Manage and monitor real-time system events such as event severity, event log date and time, source IPs, event log data export, etc.

Severity Level	Date & Time	Source IP Address	Category	Contents
✖	2020-12-18 10:12:22	127.0.0.1	General	[QuRouter] WAN Port 1 failed to connect to the Internet.
✖	2020-12-18 10:11:21	127.0.0.1	General	[QuRouter] WAN Port 1 failed to connect to the Internet.
ⓘ	2020-12-18 10:11:17	192.168.100.101	General	[QuRouter] User "admin" logged in.
✖	2020-12-18 10:10:45	127.0.0.1	General	[QuRouter] WAN Port 1 failed to connect to the Internet.
ⓘ	2020-12-18 10:10:41	192.168.100.101	General	[QuRouter] User "admin" logged in.
ⓘ	2020-12-18 10:09:12	192.168.100.101	system	[QuRouter] Configured primary device "Office".
ⓘ	2020-12-18 10:08:42	192.168.100.101	Wireless	[QuRouter] Edited the wireless network information. SSID: TWQMIRO1, Connection type: 2.4G/5G-1/5G-2
ⓘ	2020-12-18 10:05:08	192.168.100.101	Firmware Update	[QuRouter] The latest firmware version is available for download. Firmware version: 1.0.6.0001
ⓘ	2020-12-18 10:04:06	127.0.0.1	System	[QuRouter] LAN port "2" connected.
⚠	2020-12-18 10:04:04	127.0.0.1	System	[QuRouter] LAN port "2" disconnected.

Page 1 / 1 Display Item 1-12, Total 12 Show 20 Item(s)

ファームウェア

QNAP は、ルーターのファームウェアを最新に保つことを推奨しています。これにより、お使いのルーターは新機能、強化、バグフィックスの恩恵を受けることができます。

ライブ更新の確認

1. [ファームウェア] に進みます。
2. [ライブ更新] を有効にします。
3. 次のオプションを 1 つまたは複数選択します。
 - 今すぐ更新
 - 更新予定時間



注
ファームウェアの更新を予定する日時を選択します。

4. [適用] をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
5. [適用] をクリックします。

QuRouter がファームウェア更新を確認します。

ファームウェアの手動更新

アップデートは、ハードウェア構成やネットワーク接続によって数分かそれ異常を要します。

1. ルーターファームウェアをダウンロードします。
2. <http://www.qnap.com/download> に移動します。
 - a. お使いのルーターモデルを選択します。

- b. リリースノートを読み、次の事項を確認します。
 - ルーターモデルはファームウェアバージョンに対応。
 - ファームウェアのアップデートが必要。
- c. 製品名とファームウェアが正しいことを確認します。
- d. ファームウェアパッケージをダウンロードします。
- e. ファームウェアのパッケージファイルを取り出します。

3. **[ファームウェア]** に進みます。

4. **[手動更新]** を選択します。

5. **[参照]** をクリックしてから、取り出すファームウェアパッケージファイルを選択します。

6. **[適用]** をクリックします。

デバイスがすぐに再起動します。

7. ネットワーク設定

ネットワーク

ワイドエリアネットワーク (WAN) インターフェイスを設定する

1. QuRouter にログインします
2. [ネットワーク] > [物理インターフェイス設定] > [WAN] に移動します。
3. WAN インタフェースを識別します。
4.  をクリックします。
ポート設定ウィンドウが表示されます。
5. インターフェイスとして **WAN** を選択します。
6. インターフェイス設定を行います。

設定	ユーザー操作
インターフェイス名	インターフェイス名を 1~64 文字で指定します。
説明 (オプション)	インターフェイスの説明を入力します。
MTU	MTU 値を 576~1500 の間で指定します。  注 最大転送単位 (MTU) は、ネットワークが転送できる最大の packetsize です。
転送(Tx) ISP 回線速度	物理レイヤーの総伝送ビットレートを指定します。  注 ISP 回線速度は、QuWAN および QoS 設定を行った場合のみ設定します。
受信 (Rx) ISP 回線速度	物理レイヤーの総受信ビットレートを指定します。

7. IPv4 アドレス割り当てを設定します。
 - a. 次のオプションからインターフェイス接続を選択します。

設定	説明
DHCP	DHCP から自動で IP アドレス設定を取得する
静的 IP	静的 IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • プライマリおよびセカンダリの DNS サーバー
PPPoE	PPPoE (イーサネットを経由したポイント・ツー・ポイントプロトコル) のユーザー名とパスワードを指定するにはこれを選択します。

b. DNS 設定を行います。

設定	説明
DNS サーバー	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動：DHCP を用いて IP アドレスを自動的に取得します。 • 手動：プライマリおよびセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを手動で割り当てます。 <p> 重要 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>

8. IPv6 設定を行います。

a. [IPv6 を有効にする] をクリックします。

b. 接続設定を行います。

設定	ユーザー操作
DHCPv6	<p>アダプターは DHCPv6 が有効になっているサーバーから IPv6 アドレスと DNS 設定を自動的に取得します。</p> <p> 重要 このオプションには、ネットワーク上で利用可能な DHCPv6 が有効になっているサーバーが必要です。</p>
静的 IP	<p>アダプターに静的 IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • プレフィクス長 <p> ヒント プレフィクス長情報はネットワーク管理者から入手してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルトゲートウェイ • プライマリおよびセカンダリの DNS サーバー
PPPoEv6	<p>PPPoE（イーサネットを経由したポイント・ツー・ポイント）IPv6 プロトコルのユーザー名とパスワードを指定するにはこれを選択します。</p> <p> 重要 PPPoEv6 を WAN インタフェースとして使用したい場合は、IPv4 WAN インタフェースを PPPoE に変更する必要があります。</p>
ステートレス (SLAAC)	<p>アダプターは ルーターから IPv6 アドレスと DNS 設定を自動的に取得します。</p> <p> 重要 このオプションには、ネットワーク上で利用可能な IPv6 RA(router advertisement) が有効になっているルーターが必要です。</p>

c. [DHCPv6 プレフィクス委任 (DHCPv6 PD)] をクリックして、サブスクリャイバー LAN に IPv6 アドレスを提供します。



注
プレフィックスデリゲーションは、PPPoEv6 とステートレス (SLAAC) オプションでのみ利用可能です。

9. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が WAN の設定を更新します。

ローカルエリアネットワーク (LAN) インターフェイスを設定する

1. QuRouter にログインします
2. **[ネットワーク]** > **[物理インターフェイス設定]** > **[LAN]** に移動します。
3. LAN インタフェースを識別します。
4.  をクリックします。
ポート設定ウィンドウが表示されます。
5. インターフェイスとして **LAN** を選択します。
6. インターフェイス設定を行います。

設定	ユーザー操作
インターフェイス名	インターフェイス名を 1~64 文字で指定します。
説明 (オプション)	インターフェイスの説明を入力します。
MTU	MTU 値を 576~9000 の間で指定します。  注 最大転送単位 (MTU) は、ネットワークが転送できる最大のパケットサイズです。

7. IPv4 アドレス割り当てを設定します。

設定	ユーザー操作
固定 IP アドレス	固定 IP アドレスを指定します。  ヒント これらの設定に関する最良の方法を知るには、ご自身のネットワーク設定を調べてください。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します。
スパニングツリープロトコル (STP) を有効にする	有効にしてネットワークループを回避します。

設定	ユーザー操作
<p>DHCP サーバーを有効にする</p>	<p>DHCP サーバー設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開始 IP アドレス：DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の開始 IP アドレスを指定します。 • 終了 IP アドレス：DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の終了 IP アドレスを指定します。 • リース時間：IP アドレスが DHCP クライアントに割り当てられている時間を指定します。リース時間が切れるとその IP アドレスは他のクライアントに使用されます。 • DNS サーバー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレスを使用：固定 IP アドレスで割り当てられた同じ IP アドレスを使用する場合に選択します。 • 手動：DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。 <p> 注 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>
<p>予約済み IP テーブル</p>	<ul style="list-style-type: none"> • [追加] をクリックして予約済み IP テーブルを設定します。 • 以下を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • デバイス名 • IP アドレス • MAC アドレス • <input checked="" type="checkbox"/> をクリックします。

8. IPv6 アドレス割り当てを設定します。

- a. **[IPv6]** をクリックします。
- b. **[IPv6 を有効にする]** をクリックします。
- c. ドロップダウンリストから送信 WAN インターフェイスを選択します。
- d. IPv6 の IP アドレスプレフィックスを指定します。
- e. ドロップダウンリストからプレフィクス長を選択します。
- f. リンク上のインタフェースを識別するためにインタフェース識別子を選択します。

設定	ユーザー操作
<p>インタフェース識別子</p>	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EUI-64：自動的に IPv6 ホストアドレスを構成するために、Extended Unique Identifier (EUI-64) を選択します。 • 手動：IPv6 ホストアドレスを設定するためにインタフェース ID を指定します。

- g. ドロップダウンリストからクライアント IPv6 アドレッシングモードを割り当てます。

設定	説明
IPv6 アドレッシングモード	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ステートフル：ステートフル DHCPv6 あるいはマネージドモードは、ユニークな IPv6 アドレスを各クライアントに手動で割り当てることを可能にします。 • ステートレス：ステートレス DHCPv6 モードは、リース期間を含む追加 IPv6 情報を手動で入力できるようにしますが、ユニークな IPv6 アドレスは自動的に各クライアントに割り当てられます。 • SLAAC+RDNSS：ステートレスアドレスオートコンフィグレーション (SLAAC) をリカーシブ DNS サーバー (RDNSS) と共に使用すると、ユーザーは IPv6 プレフィックスに基づく IP アドレスを手動で割り当てることができ、ドメイン名を解決するためにリカーシブクエリを使用できます。 • 無効：IPv6 クライアントアドレッシングを無効にします。

9. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が LAN の設定を更新します。

ネットワーク上の他の QNAP デバイスの場所を検索する

ルーターは、同じネットワークサブネットに接続されている他の QNAP 機器を見つけることができます。

1. QuRouter にログインします。
2. **[接続されている QNAP デバイス]** に進みます。
3. 次のアクションのいずれかを行います。

タスク	ユーザー操作
デバイスを検索	<p>a. 検索フィールドにキーワードを入力します。</p> <p>b. [Enter] を押します。</p>
デバイスの IP または MAC アドレスをコピー	IP または MAC アドレスの横で、  をクリックします。
デバイス一覧を更新	 をクリックします。

VLAN

仮想 LAN (VLAN) は、複数のネットワークデバイスをひとつにまとめ、ブロードキャストドメインを制限します。VLAN のメンバーは分離され、ネットワークトラフィックはグループメンバー間だけに送られます。VLAN はセキュリティと柔軟性を高める目的で使用することができ、ネットワーク遅延と負荷の低減にも効果的です。

VLAN 画面は既存の VLAN についての情報を表示し、VLAN 構成オプションにアクセスすることができます。

WAN VLAN インターフェイスの追加

1. QuRouter にログインします。
2. **[ネットワーク]** > **[VLAN 設定]** > **[VLAN 設定]** に進みます。
3. **[VLAN の追加]** をクリックします。

VLAN 設定ウィンドウが開きます。

4. インターフェイスとして **WAN** を選択します。
5. インターフェイス設定を行います。

設定	ユーザー操作
インターフェイス名	インターフェイス名を 1~64 文字で指定します。
説明 (オプション)	インターフェイスの説明を入力します。
MTU	MTU 値を 576~1500 の間で指定します。  注 最大転送単位 (MTU) は、ネットワークが転送できる最大のパケットサイズです。
転送(Tx) ISP 回線速度	物理レイヤーの総伝送ビットレートを指定します。  注 ISP 回線速度は、QuWAN および QoS 設定を行った場合のみ設定します。
受信 (Rx) ISP 回線速度	物理レイヤーの総受信ビットレートを指定します。  注 ISP 回線速度は、QuWAN および QoS 設定を行った場合のみ設定します。

6. VLAN のタグ付きおよびタグ無しのメンバーポートを設定します。
7. IPv4 アドレス割り当てを設定します。
 - a. 次のオプションからインターフェイス接続を選択します。

設定	説明
DHCP	DHCP から自動で IP アドレス設定を取得する
静的 IP	静的 IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • プライマリおよびセカンダリの DNS サーバー
PPPoE	PPPoE (イーサネットを経由したポイント・ツー・ポイントプロトコル) のユーザー名とパスワードを指定するにはこれを選択します。

- b. DNS 設定を行います。

設定	説明
DNS サーバー	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動：DHCP を用いて IP アドレスを自動的に取得します。 • 手動：プライマリおよびセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを手動で割り当てます。 <p> 重要 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>

8. IPv6 設定を行います。

- a. **[IPv6 を有効にする]** をクリックします。
- b. 接続設定を行います。

設定	ユーザー操作
DHCPv6	<p>アダプターは DHCPv6 が有効になっているサーバーから IPv6 アドレスと DNS 設定を自動的に取得します。</p> <p> 重要 このオプションには、ネットワーク上で利用可能な DHCPv6 が有効になっているサーバーが必要です。</p>
静的 IP	<p>アダプターに静的 IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • プレフィクス長 <p> ヒント プレフィクス長情報はネットワーク管理者から入手してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルトゲートウェイ • プライマリおよびセカンダリの DNS サーバー
PPPoEv6	<p>PPPoE（イーサネットを経由したポイント・ツー・ポイント）IPv6 プロトコルのユーザー名とパスワードを指定するにはこれを選択します。</p> <p> 重要 PPPoEv6 を WAN インタフェースとして使用したい場合は、IPv4 WAN インタフェースを PPPoE に変更する必要があります。</p>
ステートレス (SLAAC)	<p>アダプターは ルーターから IPv6 アドレスと DNS 設定を自動的に取得します。</p> <p> 重要 このオプションには、ネットワーク上で利用可能な IPv6 RA(router advertisement) が有効になっているルーターが必要です。</p>

- c. **[DHCPv6 プレフィクス委任 (DHCPv6 PD)]** をクリックして、サブスクリャイバー LAN に IPv6 アドレスを提供します。



注

プレフィックスデリゲーションは、PPPoEv6 とステートレス (SLAAC) オプションでのみ利用可能です。

9. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が WAN VLAN インターフェイスを追加します。

LAN VLAN インターフェイスの追加

1. QuRouter にログインします
2. **[ネットワーク]** > **[VLAN 設定]** > **[VLAN 設定]** に進みます。
3. **[VLAN の追加]** をクリックします。
VLAN 設定ウィンドウが開きます。
4. インターフェイスとして **LAN** を選択します。
5. インターフェイス設定を行います。

設定	ユーザー操作
インターフェイス名	インターフェイス名を 1~64 文字で指定します。
説明 (オプション)	インターフェイスの説明を入力します。
MTU	MTU 値を 576~9000 の間で指定します。  注 最大転送単位 (MTU) は、ネットワークが転送できる最大の packetsize です。

6. VLAN のタグ付きおよびタグ無しのメンバーポートを設定します。
7. IPv4 アドレス割り当てを設定します。

設定	ユーザー操作
固定 IP アドレス	固定 IP アドレスを指定します。  ヒント これらの設定に関する最良の方法を知るには、ご自身のネットワーク設定を調べてください。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します。
スパニングツリープロトコル (STP) を有効にする	有効にしてネットワークループを回避します。

設定	ユーザー操作
DHCP サーバーを有効にする	<p>DHCP サーバー設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開始 IP アドレス：DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の開始 IP アドレスを指定します。 • 終了 IP アドレス：DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の終了 IP アドレスを指定します。 • リース時間：IP アドレスが DHCP クライアントに割り当てられている時間を指定します。リース時間が切れるとその IP アドレスは他のクライアントに使用されます。 • DNS サーバー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレスを使用：固定 IP アドレスで割り当てられた同じ IP アドレスを使用する場合に選択します。 • 手動：DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。 <p> 注 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>
予約済み IP テーブル	<ul style="list-style-type: none"> • [追加] をクリックして予約済み IP テーブルを設定します。 • 以下を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • デバイス名 • IP アドレス • MAC アドレス •  をクリックします。

8. IPv6 アドレス割り当てを設定します。

- a. **[IPv6]** をクリックします。
- b. **[IPv6 を有効にする]** をクリックします。
- c. ドロップダウンリストから送信 WAN インターフェイスを選択します。
- d. IPv6 の IP アドレスプレフィックスを指定します。
- e. ドロップダウンリストからプレフィクス長を選択します。
- f. リンク上のインタフェースを識別するためにインタフェース識別子を選択します。

設定	ユーザー操作
インタフェース識別子	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EUI-64：自動的に IPv6 ホストアドレスを構成するために、Extended Unique Identifier (EUI-64) を選択します。 • 手動：IPv6 ホストアドレスを設定するためにインタフェース ID を指定します。

- g. ドロップダウンリストからクライアント IPv6 アドレッシングモードを割り当てます。

設定	説明
IPv6 アドレッシングモード	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ステートフル：ステートフル DHCPv6 あるいはマネージドモードは、ユニークな IPv6 アドレスを各クライアントに手動で割り当てることを可能にします。 • ステートレス：ステートレス DHCPv6 モードは、リース期間を含む追加 IPv6 情報を手動で入力できるようにしますが、ユニークな IPv6 アドレスは自動的に各クライアントに割り当てられます。 • SLAAC+RDNSS：ステートレスアドレスオートコンフィグレーション (SLAAC) をリカーシブ DNS サーバー (RDNSS) と共に使用すると、ユーザーは IPv6 プレフィックスに基づく IP アドレスを手動で割り当てることができ、ドメイン名を解決するためにリカーシブクエリを使用できます。 • 無効：IPv6 クライアントアドレッシングを無効にします。

9. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が VLAN LAN インターフェイスを追加します。

VLAN の設定を行う

1. QuRouter にログインします。
2. **[ネットワーク]** > **[VLAN 設定]** > **[VLAN 設定]** に進みます。
3. 設定する VLAN を識別します。
4.  をクリックします。
VLAN 設定 ウィンドウが開きます。
5. VLAN の設定を編集します。



注
VLAN の設定は、以下を参照してください。

- [WAN VLAN インターフェイスの追加](#)
- [LAN VLAN インターフェイスの追加](#)

6. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が VLAN の設定を更新します。

VLAN の削除

1. QuRouter にログインします。
2. **[ネットワーク]** > **[VLAN 設定]** > **[VLAN 設定]** に進みます。
3. VLAN を識別します。
4.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。

5. **[はい]** をクリックします。

QuRouter が VLAN を削除します。

ブリッジ接続の設定

ルーターは、ネットワーク内のすべてのデバイスに透過的な接続を提供するために、有線ブリッジを作成するように設定することができます。ブリッジモードでは、2 台のルーターを IP アドレスの競合なしに接続し、複数のデバイスにポートの可用性を拡張することができます。



重要

2 台のルーター間で有線ブリッジ接続を行うには、両方のルーターで同じ設定を行うことを確認します。

1. QuRouter にログインします
2. **[ネットワーク]** > **[ブリッジ]** に移動します。
3. **[ブリッジの追加]** をクリックします。
[ブリッジ] ウィンドウが表示されます。
4. インターフェイスの説明を入力します。
5. MTU 値を 576~9000 の間で指定します。
6. リストから利用可能なインターフェイスを 1 つ以上選択します。
7.  をクリックします。
QuRouter がそのインターフェイスをブリッジ接続リストに追加します。



注



をクリックすると、追加したインターフェイスをリストから削除します。

8. IPv4 アドレス割り当てを設定します。

設定	ユーザー操作
固定 IP アドレス	固定 IP アドレスを指定します。  ヒント これらの設定に関する最良の方法を知るには、ご自身のネットワーク設定を調べてください。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します。
スパニングツリープロトコル (STP) を有効にする	有効にしてネットワークループを回避します。

設定	ユーザー操作
DHCP サーバーを有効にする	<p>DHCP サーバー設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開始 IP アドレス：DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の開始 IP アドレスを指定します。 • 終了 IP アドレス：DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の終了 IP アドレスを指定します。 • リース時間：IP アドレスが DHCP クライアントに割り当てられている時間を指定します。リース時間が切れるとその IP アドレスは他のクライアントに使用されます。 • DNS サーバー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレスを使用：固定 IP アドレスで割り当てられた同じ IP アドレスを使用する場合に選択します。 • 手動：DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。 <p> 注 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>
予約済み IP テーブル	<ul style="list-style-type: none"> • [追加] をクリックして予約済み IP テーブルを設定します。 • 以下を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • デバイス名 • IP アドレス • MAC アドレス • <input checked="" type="checkbox"/> をクリックします。

9. IPv6 アドレス割り当てを設定します。

- a. **[IPv6]** をクリックします。
- b. **[IPv6 を有効にする]** をクリックします。
- c. ドロップダウンリストから送信 WAN インターフェイスを選択します。
- d. IPv6 の IP アドレスプレフィックスを指定します。
- e. ドロップダウンリストからプレフィクス長を選択します。
- f. リンク上のインタフェースを識別するためにインタフェース識別子を選択します。

設定	ユーザー操作
インタフェース識別子	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EUI-64：自動的に IPv6 ホストアドレスを構成するために、Extended Unique Identifier (EUI-64) を選択します。 • 手動：IPv6 ホストアドレスを設定するためにインタフェース ID を指定します。

- g. ドロップダウンリストからクライアント IPv6 アドレッシングモードを割り当てます。

設定	説明
IPv6 アドレッシングモード	<p>以下の中から選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ステートフル：ステートフル DHCPv6 あるいはマネージドモードは、ユニークな IPv6 アドレスを各クライアントに手動で割り当てることを可能にします。 • ステートレス：ステートレス DHCPv6 モードは、リース期間を含む追加 IPv6 情報を手動で入力できるようにしますが、ユニークな IPv6 アドレスは自動的に各クライアントに割り当てられます。 • SLAAC+RDNSS：ステートレスアドレスオートコンフィグレーション (SLAAC) をリカーシブ DNS サーバー (RDNSS) と共に使用すると、ユーザーは IPv6 プレフィックスに基づく IP アドレスを手動で割り当てることができ、ドメイン名を解決するためにリカーシブクエリを使用できます。 • 無効：IPv6 クライアントアドレッシングを無効にします。

10. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がブリッジ接続を追加します。

DHCP IP アドレス予約の管理

ルータを再起動するたびにネットワークインターフェイスが同じ IP アドレスを受け取るようにするには、DHCP サーバーによって提供される IP アドレスを予約することができます。

1. QuRouter にログインします。
2. **[ネットワーク]** > **[DHCP テーブル]** に進みます。
3. 1 つ以上のインターフェイスを選択します。
4. **[予約]** をクリックします。



ヒント

選択したインターフェイスの DHCP IP アドレスの予約を解除するには、**[予約解除]** をクリックします。

QuRouter は、選択したインターフェイスに DHCP IP アドレスを予約します。

静的ルート

静的ルートは、ネットワーク設定の「**静的ルート**」セクションで作成と管理ができます。通常の状況下では、インターネットアクセスの設定が行われた後に QuRouter は自動的に経路情報を取得します。静的ルートは通常は不要ですが、ネットワーク内に複数 IP サブネットがあるような特殊な状況では必要になります。

次のページで、IPv4 と IPv6 のルーティング情報を見ることができます。

- IPv4 ルーティング情報: **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** > **[IPv4/ルーティングテーブル]**
- IPv6 ルーティング情報: **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** > **[IPv6/ルーティングテーブル]**

ルーティングテーブルは、次のソースから設定された経路エントリーについてのステータス情報を表示します。

- 直接接続されたネットワーク
- ダイナミックルーティングプロトコル

- スタティック設定経路

IPv4 静的ルートの追加

1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [ルーティング] > [IPv4/静的ルート] に進みます。
3. [静的ルートの追加] をクリックします。
静的ルートの追加ウィンドウが開きます。
4. 設定を行います。

設定	ユーザー操作
宛先	接続がルーティングされる場所の静的 IP アドレスを指定します。
サブネットマスク	デスティネーションのネットサブネットマスクの IP アドレスを指定します。
ネクストホップ	以下のネクストホップオプションからお選びください。 <ul style="list-style-type: none"> • WAN インターフェイス：このルーティングパスで利用できる WAN インターフェイスを選択します。 • IP アドレス：ルーティング経路でもっとも近いあるいは最適なルーターの IP アドレスを指定します。
メトリック	経路が通過するノードの数を指定します。  注 メトリックは、ルーターが接続先ネットワークへの最適経路を決定する際に使われるコスト値です。
説明	ここに静的ルートの説明を入力します。

5. [適用] をクリックします。

QuRouter が IPv4 静的ルートを作成します。

IPv6 静的ルートの追加

1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [ルーティング] > [IPv6/静的ルート] に進みます。
3. [静的ルートの追加] をクリックします。
静的ルートの追加ウィンドウが開きます。
4. 設定を行います。

設定	ユーザー操作
宛先	接続がルーティングされる場所の静的 IP アドレスを指定します。
プレフィクス長	IPv6 アドレッシングのプレフィクス長を選択します。
ネクストホップ	このルーティングパスで利用できる WAN インターフェイスを選択します。
メトリック	経路が通過するノードの数を指定します。  注 メトリックは、ルーターが接続先ネットワークへの最適経路を決定する際に使われるコスト値です。

設定	ユーザー操作
説明	ここに静的ルートの説明を入力します。

5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が IPv6 静的ルートを作成します。

静的ルートの設定

1. QuRouter にログインします。
2. 静的ルートを選択します。
 - IPv4 静的ルート: **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** > **[IPv4/静的ルート]**
 - IPv6 静的ルート: **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** > **[IPv6/静的ルート]**
3. 静的ルートを認識します。
4.  をクリックします。
静的ルートの編集ウィンドウが開きます。
5. 静的ルートを設定します。
詳細は、次を参照してください。
 - [IPv4 静的ルートの追加](#)
 - [IPv6 静的ルートの追加](#)
6. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が静的ルート設定を更新します。

静的ルートの削除

1. QuRouter にログインします。
2. 静的ルートを選択します。
 - IPv4 静的ルート: **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** > **[IPv4/静的ルート]**
 - IPv6 静的ルート: **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** > **[IPv6/静的ルート]**
3. 静的ルートを認識します。
4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が静的ルートを削除します。

クライアント

このセクションは、ルーターネットワークに接続されているすべてのクライアントへのアクセスを提供しません。

さらに、ブロック済み(Blocked)リストを使用して、ネットワークサービスへのアクセスをブロックされたクライアントの管理を行うことができます。

デバイスをブロックリストに追加する

1. QuRouter にログインします。
2. [クライアント] > [ブロックリスト] に進みます。
3. [クライアントをブロックする] をクリックします。
デバイスをブロックリストに追加ウィンドウが開きます。
4. 設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
説明	デバイスの説明を指定します。  注 <ul style="list-style-type: none"> • 説明は 1 - 20 文字である必要があります。 • 有効な文字：A~Z、a~z、0~9 • 許される記号：ハイフン (-), アンダースコア (_), ピリオド (.)
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレスを指定します。

5. インターフェイスを選択します。
6. [適用] をクリックします。

QuRouter がそのデバイスをブロックリストに追加します。



ヒント

[クライアント] 内のクライアント名の横にある  をクリックすることで、クライアントをブロックすることもできます。

デバイスをブロックリストに設定する

1. QuRouter にログインします。
2. [クライアント] > [ブロックリスト] に進みます。
3. デバイスを認識します。
4.  をクリックします。
ブロックリストデバイスの編集ウィンドウが表示されます。
5. デバイス設定を行います。
詳細は、[デバイスをブロックリストに追加する](#) をご覧ください。
6. [適用] をクリックします。

QuRouter がデバイス情報を更新します。

デバイスをブロック済リストから削除する

1. QuRouter にログインします。
2. [クライアント] > [ブロックリスト] に進みます。
3. デバイスを認識します。
4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. [適用] をクリックします。

QuRouter がそのデバイスをブロックリストから削除します。

SD-WAN

QuWAN について

QuWAN は、QNAP クラウドベースの SD-WAN ネットワーキングソリューションで、そのプライベートネットワークポロジリー内のデバイスのネットワーク機能を管理するために集中化された制御プラットフォームを提供します。QuWAN は、WAN ネットワーク全体のトラフィックをインテリジェントかつセキュアな形で統率します。

お客様は、ルーターの SD-WAN 設定を行い、QuWAN Orchestrator にアクセスして SD-WAN オーバーレイネットワークを管理できます。

QuWAN の設定

1. QuRouter にログインします。



注

ご自分の QNAP ID で初めてログインする場合、2 段階認証プロセスのためにローカルアカウントの資格情報を入力するよう求められます。



重要

QuWAN 設定を行い、保存した後、デバイスが設定を導入し、QuWAN ネットワークに参加するために再起動します。

2. [QuWAN] > [QuWAN 設定] に進みます。
3. QuWAN の設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
組織	<p>ご自分の QNAP ID に対応している組織を選択します。</p> <p> 注 ご自分の QNAP ID に対応している組織がない場合は、[組織を作成または編集] をクリックします。QuRouter が新しい組織の作成または既存の組織の編集を行える QNAP アカウントウェブサイトへリダイレクトします。</p>
リージョン	<p>選択した組織とリンクされているリージョンを選択します。 [リージョンの追加] をクリックして新しいリージョンを作成します。</p>

設定	ユーザーのアクション
サイト	<p>ドロップダウンメニューからサイトを選択します。</p> <p> 注 [サイトを作成または編集] をクリックし、選択した組織に対応する新しいサイトを作成するかまたは既存のサイトを編集します。</p>
デバイス名	<p>次のグループの中から 3~15 文字を含む一意のデバイス名を指定します。 有効な文字：A~Z、a~z、0~9</p>
デバイスロール	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハブ: SD-WAN ハブとなるデバイスを設定します。デバイスをハブとして選択するには、WAN 接続のパブリック IP アドレスが必要です。 • エッジ: SD-WAN エッジとなるデバイスを設定します。 <p> 重要</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組織の NAT 背後のデバイスには、エッジのデバイスロールだけが割り当てられます。 • QuWAN Orchestrator は、ハブのロールを組織に最初に追加されたデバイスに、それがパブリック IP アドレスをもっている場合のみ、ハブのロールを自動的に割り当てます。 • QuWAN デバイスがプライベート IP アドレスを使用している場合は、QuRouter を用いてエッジのデバイスロールだけを割り当てることができます。QuWAN デバイスの前にあるルーターでポートフォワーディングを有効にしている場合、QuWAN Orchestrator 内でデバイスロールをエッジからハブに変更できます。
位置情報	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスで検索する • GPS 座標で更新する

4. **[組織と QuWAN に参加する]** をクリックします。



重要

- ルーターはそれが QuWAN トポロジーの一部になった時点で QNAP ID との紐付けが切れません。
- QNAP ルーターは、30 までの VPN トンネルをサポートします。

確認メッセージが表示されます。

5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter が QuWAN トポロジーをルーターに追加します。

QuWAN Orchestrator にアクセスする

1. QuRouter にログインします。

2.



タスクバーの  をクリックします。

3. **[QuWAN Orchestrator に移動]** をクリックします。
 QuWAN Orchestrator が新しいブラウザタブで開きます。

QuWAN QBelt VPN サーバーを設定する

QNAP では、QuWAN Orchestrator を使用してハブを QBelt VPN サーバーとして設定できます。SD-WAN クラウドソリューションにおいて VPN サーバーを設定した後、複数の VPN ユーザーを追加でき、クライアントは QVPN デバイスクライアントを使用してハブに接続できます。



注
 設定された VPN サーバー設定だけを、QuRouter で表示できます。設定を行うには、QuWAN Orchestrator に進みます。

1. QuRouter にログインします。
2. **[QuWAN]** > **[QuWAN QBelt VPN サーバー]** に進みます。
3. **[QuWAN Orchestrator に移動]** をクリックします。
 QuWAN Orchestrator が新しいタブ内で開きます。
4. QNAP ID とパスワードで QuWAN Orchestrator にログインします。
5. **[VPN サーバー設定]** > **[QuWAN QBelt VPN サーバー]** に進みます。
6. ハブを見つけます。
7.  をクリックします。



注
QuWAN QBelt VPN サーバー ページに掲載されているハブは、デフォルトの VPN サーバー設定で自動的に設定されます。VPN の要件に応じてご自分の設定を編集します。

VPN サーバー構成ウィンドウが開きます。

8. QuWAN QBelt VPN サーバーを設定します。

設定	ユーザーのアクション
VPN ユーザーの IP 範囲	固定された IP アドレス範囲を VPN ユーザーに割り当てます。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します。
UDP サービスポート	<p>[サービス管理] をクリックし、ポート番号をその UDP サービスポートに割り当てます。</p> <p> ヒント  をクリックし UDP サービスポート番号を更新します。</p>
VPN ユーザーの最大数	<p>VPN サーバーに接続できる VPN ユーザーの最大数を指定します。</p> <p> 注 入力できる最大値は、指定されたサブネットマスクによって変わります。</p>

設定	ユーザーのアクション
DNS サーバー	<p>DNS サーバーの IP アドレスを指定します。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3 つの DNS まで指定できます。 • 複数の入力はコンマ(,)で区切ります。

9. **【保存】** をクリックします。
QuWAN Orchestrator が、VPN サーバー設定を保存します。

10.  をクリックし、VPN サーバを有効にします。

設定された QuWAN QBelt VPN サーバー設定は、QuRouter 上で更新されます。

QVPN

QVPN により、VPN サーバーの作成と管理、VPN クライアントの追加、VPN ログの監視が可能になります。

QVPN サーバーの設定

QuRouter は、QNAP ルーターを VPN サーバーとして設定できるようにします。複数の仮想サーバーを設定し、VPN サービスをホストし、組織のユーザーに提供することができます。



注
QNAP ルーターは、QuWAN と QVPN 接続を含む最大 30 の VPN トンネルをサポートします。

QBelt VPN サーバーを有効にする

QBelt は、QNAP の独自通信プロトコルで、Datagram Transfer Layer Security (DTLS) プロトコルと AES-256 暗号を組み込んでいます。

1. QuRouter にログインします。
2. **【QVPN サーバー】** > **【QVPN 設定】** に進みます。
3. QBelt の下で、 をクリックします。
4.  をクリックします。
QVPN 設定 ウィンドウが表示されます。
5. Qbelt サーバーを設定します。

設定	説明
クライアント IP プール	VPN クライアントで使用可能な IP アドレスの範囲を指定します。  重要 デフォルトでは、このサーバーは IP アドレス 198.18.2.2~198.18.2.254 間の使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがその範囲で使われるように設定していないことを確認してください。
サービスポート (UDP)	サーバーにアクセスするために使用するポートを選択します。  注 デフォルトのポート番号: 4433
事前共有キー	VPN クライアントの接続を確認する事前共有キー (パスワード) を指定します。  ヒント 事前共有キーの要件: <ul style="list-style-type: none"> • 長さ: 8~16 ASCII 文字 • 有効な文字: A~Z, a~z, 0~9
DNS	QBelt サーバー用の DNS サーバーを指定します。  注 DNS サーバーの制限はデフォルトで 1 です。

6. [適用] をクリックします。

QuRouter が QBelt サーバー設定を保存します。

L2TP VPN サーバーを有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. [QVPN サーバー] > [QVPN 設定] に進みます。
3. L2TP の下にある  をクリックします。

 **重要**
 ルーターが QuWAN サービスを仕様している場合は、L2TP サーバーは有効にできません。L2TP サーバーを有効するには、[QuWAN] > [QuWAN 設定] に進み、[組織と QuWAN から抜ける] をクリックします。

4.  をクリックします。
QVPN 設定 ウィンドウが表示されます。
5. L2TP サーバーを設定します。

設定	説明
クライアント IP プール	VPN クライアントで使用可能な IP アドレスの範囲を指定します。  重要 デフォルトでは、このサーバーは IP アドレス 198.18.3.2~198.18.3.254 間の使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがその範囲で使われるように設定していないことを確認してください。
認証	次の認証方法のいずれか 1 つを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • PAP • MS-CHAPv2
事前共有キー	VPN クライアントの接続を確認する事前共有キー (パスワード) を指定します。  ヒント 事前共有キーの要件: <ul style="list-style-type: none"> • 長さ: 8~16 ASCII 文字 • 有効な文字: A~Z、a~z、0~9
DNS	L2TP サーバー用の DNS サーバーを指定します。  注 DNS サーバーの制限はデフォルトで 1 です。

6. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が L2TP サーバー設定を保存します。

OpenVPN VPN サーバーを有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. **[QVPN サーバー]** > **[QVPN 設定]** に進みます。
3. OpenVPN の下で  をクリックします。
4.  をクリックします。
QVPN 設定 ウィンドウが表示されます。
5. OpenVPN サーバーを設定します。

設定	説明
クライアント IP プール	VPN クライアントで使用可能な IP アドレスの範囲を指定します。  重要 デフォルトでは、このサーバーは IP アドレス 198.18.4.2~198.18.4.254 間の使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがその範囲で使われるように設定していないことを確認してください。
サービスポート	以下のオプションからお選びください。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP • UDP  注 デフォルトのポート番号: 1194
暗号化	次の暗号手法から選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • 中 (AES 128 ビット) • 高 (AES 256 ビット)
DNS	OpenVPN サーバー用の DNS サーバーを指定します。  注 DNS サーバーの制限はデフォルトで 1 です。

6. [この接続をリモートデバイスに対するデフォルトゲートウェイとして使用する] を有効化します。

 **注**
 デフォルトネットワークゲートウェイが OpenVPN サーバーを越えてリダイレクトされることの許可を有効にします。クライアントからの非ローカルトラフィックはすべて、VPN サーバーを通じて転送されます。

7. [圧縮 VPN リンクを有効にする] を有効化します。

 **注**
 この設定は、VPN 経由で転送する前にデータを圧縮します。これによりデータ転送スピードが上がりますが、CPU リソースをさらに必要とします。

8. [適用] をクリックします。
 QuRouter が OpenVPN サーバー設定を保存します。

9. 任意:  をクリックして設定ファイルをダウンロードし、OpenVPN サーバーを手動で設定します。

WireGuard VPN サーバーを有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. [QVPN サーバー] > [QVPN 設定] に進みます。
3. WireGuard を有効にします。
 - a. WireGuard サーバーを見つけます。

- b.  をクリックします。 **WireGuard 設定** ページが表示されます。
- c. **[WireGuard サーバを有効にする]** をクリックします。
- d. WireGuard サーバーを設定します。

設定	ユーザーのアクション
クライアント IP プール	VPN サーバー用の固定 IP サブネットを入力します。  重要 デフォルトでは、このサーバーは 198.18.7.1/24 からの IP アドレスの使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがこの範囲を使用する設定になっていないことも確認してください。
リッスンポート	1~65535 間の UDP ポート番号を指定します。  注 デフォルトの WireGuard ポート番号は 51820 です。
プライベートキー	[キーペアの生成] をクリックすると、32 バイトの一意のプライベートキーが自動的に入力されます。
DNS	WireGuard サーバー用の DNS サーバーを指定します。
パースistent キープアライブ	ピアがファイアウォールの背後にある場合には、キープアライブパケットの送信間隔を秒単位で指定します。

4. **[適用]** をクリックします。
WireGuard 設定画面が閉じます。

5.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

6. **[はい]** をクリックします。

QuRouter が WireGuard サーバーを有効にします。

QVPN ユーザーの追加

1. QuRouter にログインします。
2. **[QVPN サーバー]** > **[QVPN ユーザー管理]** > **[QVPN ユーザー設定]** に進みます。
3. L2TP、OpenVPN、または QBelt QVPN ユーザーを追加します。
 - a. **[追加]** をクリックします。
 - b. ユーザー名とパスワードを指定します。



ヒント

8 から 16 文字で、少なくともひとつの文字 (A-Z、a-z) とひとつの数字 (0-9) を含むパスワードを指定してください。

- c. **[適用]** をクリックします。

4. WireGuard QVPN ユーザーを追加します。
 - a. **[追加]** をクリックします。
 - b. ユーザープロファイル名を指定します。
 - c. **[キーペアの生成]** をクリックし、秘密鍵とパブリックキーを生成します。
 - d. **[追加]** をクリックします。

QuRouter が VPN ユーザを追加します。

QVPN クライアント設定

QVPN クライアントサービスにより、OpenVPN プロトコルを使用してルーターを VPN サーバーに接続できます。



重要

- OpenVPN 接続を追加する場合は、その接続を確立するために OpenVPN 設定ファイルが必要です。
- QVPN クライアントサービスを有効にするには、QVPN サーバーサービスと QuWAN サービスを無効にしてください。

OpenVPN 接続プロファイルの作成

1. QuRouter にログインします。
2. **[QVPN クライアント]** > **[QVPN 接続プロファイル]** に進みます。
3. **[プロファイルの追加]** をクリックします。
OpenVPN 接続の作成ウィンドウが表示されます。
4. OpenVPN 接続プロファイルを設定します。

設定	ユーザー操作
OpenVPN 接続プロファイル	OpenVPN 設定ファイルを追加します。 <ol style="list-style-type: none"> a. [参照] をクリックします。 ファイルエクスプローラー ウィンドウが開きます。 b. OpenVPN 構成ファイルを検索します。 c. [開く] をクリックします。
OpenVPN 接続プロファイル名	このプロファイルの特定に役立つ名前を指定してください。
ユーザー名	VPN サーバーにアクセスするためのユーザー名を指定します。
パスワード	VPN サーバーにアクセスするためのパスワードを指定します。 <div style="margin-top: 10px;">  <p>ヒント パスワードの要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長さ：1~64 ASCII 文字 • 有効な文字：A~Z、a~z、0~9 </div>

5. 任意: **[サーバーを再起動した後、自動的に OpenVPN と再接続される]** を選択します。

6. **[追加]** をクリックします。

QuRouter が QVPN 接続プロファイルを追加します。

QVPN クライアントサービスを有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. **[QVPN クライアント]** > **[QVPN 接続プロファイル]** に進みます。
3. アクティブなプロファイルを選択します。

4.  をクリックします。

QuRouter が QVPN クライアントサービスを有効にします。



ヒント

QVPN 接続ログを表示するには、**[QVPN クライアント]** > **[QVPN 接続ログ]** に進みます。

QVPN 接続プロファイルを削除する

1. QuRouter にログインします。
2. **[QVPN クライアント]** > **[QVPN 接続プロファイル]** に進みます。
3. 接続プロファイルを識別します。
4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. **[はい]** をクリックします。

QuRouter が QVPN 接続プロファイルを削除します。



注

アクティブな QVPN 接続プロファイルを削除すると、自動的に QVPN クライアントサービスが無効になります。

QVPN ログの管理

QuRouter レコードアクションで、QVPN サーバーとクライアントで実施されます。記録される情報とは、接続日、接続時間、クライアント名、ソース IP アドレス、プロトコル情報が含まれます。

1. QuRouter にログインします。

オプション	UI パス
QVPN サーバーログ	[QVPN サーバー] > [ログ] 。
QVPN クライアントログ	[QVPN クライアント] > [QVPN 接続ログ] 。

2. QVPN ログを消去するには、**[ログを消去]** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

3. **【はい】** をクリックします。

QuRouter が QVPN ログを消去します。

サービスポート管理

サービスポート管理機能は、ルーター上のカスタムネットワークサービスポートを簡単に管理できるようにします。外部アプリケーションやデバイスとの通信用にカスタムサービスを追加できます。

カスタムサービスポートを追加

1. QuRouter にログインします。
2. **【サービスポート管理】** に進みます。
3. **【カスタムサービスの追加】** をクリックします。
カスタムサービスの追加ウィンドウが開きます。
4. カスタムサービス情報を指定します。

設定	ユーザーのアクション
サービス名	サービスの名前を指定します。
プロトコル	以下のネットワーク転送プロトコルから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて (TCP/UDP) • TCP • UDP • ESP
WAN サービスポート	ポート番号を指定します。  ヒント <ul style="list-style-type: none"> • ポートは、1~65535 である必要があります。 • このフィールドは、最大 15 ポートまで指定できます。 • 複数のポートは、カンマ (,) で区切ります。 • ポートの範囲は、空白を空けずにハイフン (-) を使用して指定します。
説明	カスタムサービスの説明を追加します。

5. **【保存】** をクリックします。

QuRouter がカスタムサービスポートを追加します。

カスタムサービスポートを削除する

1. QuRouter にログインします。
2. **【サービスポート管理】** に進みます。
3. カスタムサービスポートを識別します。

4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

5. **[はい]** をクリックします。

QuRouter がカスタムサービスポートを削除します。

DDNS 設定

Dynamic DNS Service (DDNS) は、IP アドレスの代わりにドメイン名を用いてルーターにインターネットアクセスを可能にするものです。これは、クライアント ISP が IP の割り当てを変更したとしてもルーターにアクセス可能にします。

DDNS (My DDNS) 設定を行う

1. QNAP ID とパスワードで QuRouter にログインします。
2. **[DDNS]** に進みます。
3. **[DDNS 設定]** をクリックします。
[DDNS 設定] ウィンドウが表示されます。
4. WAN インターフェイスを選択します。

設定	ユーザー操作
WAN インターフェイス	設定済み WAN ポートを選択します。
静的 IP	固定 IP アドレスを手動で割り当てます。
自動 DHCP IP アドレスを取得	ネットワークが DHCP をサポートする場合、アダプターは IP アドレスとネットワーク設定を自動的に取得します。

5. **[適用]** をクリックします。
QuRouter が DDNS の設定を更新します。

6.  をクリックします。

QuRouter が DDNS サービスを有効にします。

DDNS ドメイン名を変更する

デバイスにアクセスするために使用されているアドレスを変更するには、DDNS ドメイン名を編集します。

1. QuRouter にログインします。
2. **[DDNS 設定]** に進みます。
3. **[ドメイン名の編集]** をクリックします。
デバイス名の編集 ウィンドウが開きます。
4. DDNS ドメイン名を入力します。



注
myQNAPcloud ドメイン名は、3~15 文字で英文字 (A-Z、a-z) および数字 (0-9) でなければなりません。

5. **[OK]** をクリックします。

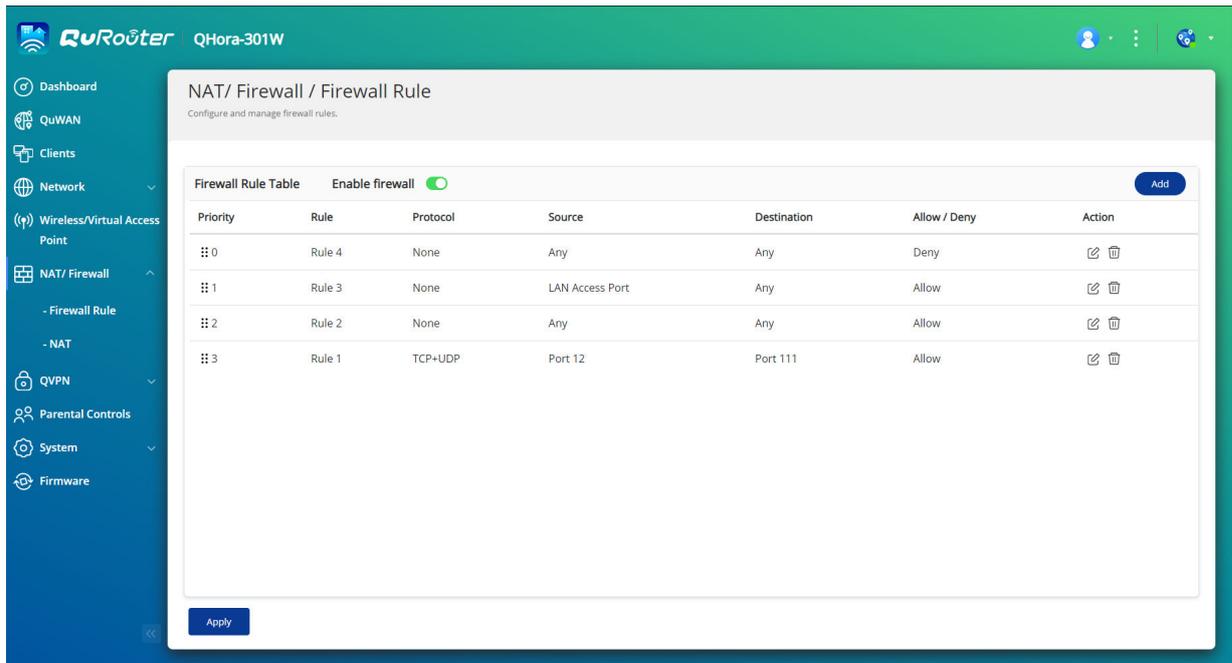
QuRouter が DDNS ドメイン名を更新します。

8. セキュリティ設定

ファイアウォール

ファイアウォールルールは、定義された条件に従い、個別のパケットの情報フローの制御、権限の設定を可能にします。

ここでファイアウォールを有効にし、個々のファイアウォールルールを管理できます。



ファイアウォールルールの追加

1. [NAT/ファイアウォール] > [ファイアウォールルール] に進みます。
2. [追加] をクリックします。
[ルールの追加] ウィンドウが開きます。
3. ファイアウォールルール設定を行います。

設定	ユーザー操作
ルール名	ファイアウォールルール名を指定します。  注 要件: <ul style="list-style-type: none"> • 長さ：1~32 文字 • 有効な文字：A~Z、a~z、0~9
プロトコル	このルールの IP プロトコルタイプを指定します。

設定	ユーザー操作
送信元	<p>このルールの接続元を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて] を指定すると、すべての接続にルールを適用します。 • [定義] を選択することで、このルールで定義されたソースからのトラフィックにこのルールが適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [なし] を選択することで、クライアントのオペレーティングシステムからのトラフィックにルールが適用されます。 • [インターフェイス] を選択すると、WAN および LAN ポート、VLAN、ブリッジネットワークなど、選択した WAN および LAN インターフェイスからのすべての IP アドレスから発信されるトラフィックにルールを適用することができます。 • [IP] を選択すると、単一の IP、特定のサブネット、または特定の範囲のすべての IP からの接続にルールを適用します。
宛先	<p>このルールの接続先を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて] を指定すると、すべての接続にルールを適用します。 • [定義] を選択することで、このルールで定義されたデスティネーションへのトラフィックにこのルールが適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [IP] を選択すると、単一の IP、特定のサブネット、または特定の範囲のすべての IP への接続にルールを適用します。 • [ドメイン名] を選択すると、指定したドメイン名に関連するすべての IP アドレスに向かうトラフィックにルールを適用することができます。
ポート	<p>このルールの IP プロトコルタイプを指定します。 このフィールドは、TCP または UDP プロトコルを選択した場合のみ使用できます。</p> <p> 注</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートは、1~65535 である必要があります。 • このフィールドは、最大 15 ポートまで持つことができます • 複数のポートはカンマ (,) で区切ってください。 • ポートの範囲は、ハイフン (-) を使用して指定します
アクション	このルールが一致する接続の許可またはブロックを行うかどうかを指定します。

4. **[保存]** をクリックします。

QuRouter がファイアウォールルールを作成します。

ファイアウォールルールの設定

1. **[NAT/ファイアウォール]** > **[ファイアウォールルール]** に進みます。
2. ロールを識別します。
3.  をクリックします。
ルールの編集ウィンドウが開きます。

4. ファイアウォールルール設定を行います。
詳細は、[ファイアウォールルールの追加](#)をご覧ください。
5. **[保存]** をクリックします。

QuRouter がファイアウォールルールを更新します。

ファイアウォールルールの削除

1. **[NAT/ファイアウォール]** > **[ファイアウォールルール]** に進みます。
2. ファイアウォールルールを識別します。
3.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
4. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がファイアウォールルールを削除します。

ネットワークアドレstransレーション (NAT)

NAT により、プライベートネットワークでインターネットに接続する際に未登録の IP アドレスを使うことができます。NAT はパケットを別のネットワークに転送する前に、内部ネットワークのプライベート IP アドレスをパブリック IP アドレスに変換します。

アプリケーションレイヤゲートウェイ (ALG)

ALG 機能により、特定のアプリケーションレイヤプロトコルでのトランスペアレントなネットワーク変換を導入できます。NAT ALG は次のプロトコルに対応しています。

- ファイル転送プロトコル (FTP)
- ポイントツーポイントトンネリングプロトコル (PPTP)
- セッションイニシエーションプロトコル (SIP)

プロトコル名の横にあるスイッチを有効にすることで、各プロトコルに対する機能を有効にできます。

ポートフォワーディング

ルーター上の受信および送信トラフィックをネットワークに接続されているデバイスに向けるために使用できる、ポートフォワーディングルールを設定します。

ポートフォワーディングルールの追加

ポート転送ルールを設定する前に、**サービスポート管理**でカスタムサービスポートを追加していることを確認してください。詳細は、[カスタムサービスポートを追加](#)をご覧ください。

1. **[NAT/ファイアウォール]** > **[NAT]** > **[ポートフォワーディング]** に進みます。
2. **[ルールの追加]** をクリックします。
[ルールの追加] ウィンドウが開きます。
3. ルール設定を行います。

設定	ユーザー操作
WAN サービスポート	ドロップダウンメニューからカスタム WAN サービスポートを選択します。
WAN インターフェイス	ドロップダウンメニューから WAN インターフェイスを選択します。
ホスト IP アドレス	LAN IP アドレスを指定します。
LAN サービスポート	ホスト IP サーバーのサービスポート番号を指定します。
許可されているリモート IP	リモート IP を指定します。 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>注 このフィールドを空欄にすると、どのリモート IP アドレスからのアクセスも許可されます。</p> </div> </div>
説明	ルールの説明を入力します。

4. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がポートフォワーディングルールを追加します。

ポートフォワーディングルールの設定

1. **[NAT/ファイアウォール]** > **[NAT]** > **[ポートフォワーディング]** に進みます。
2. 設定するルールを確認します。
3.  をクリックします。
ルールの編集ウィンドウが開きます。
4. ポートフォワーディング設定を行います。
詳細は、[ポートフォワーディングルールの追加](#)をご覧ください。
5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がポートフォワーディングルールを更新します。

ポートフォワーディングルールの削除

1. **[NAT]** > **[ポートフォワーディング]** に進みます。
2. ルールを見つけます。
3.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がルールを削除します。

非武装地帯 (DMZ)

非武装地帯 (DMZ) は、ファイアウォールの背後にパブリックアクセスが可能なサブネットワークを作成します。DMZ ルールを設定すると、ネットワーク全体のセキュリティを損なうことなく WAN へのパブリックサービスを追加することができます。

**重要**

DMZ ルールの設定は、ポートフォワーディングルールが使用されていない設定の WAN インターフェイスでのみ可能です。

DMZ の設定を行う

1. **[NAT/ファイアウォール]** > **[NAT]** > **[非武装地帯 (DMZ)]** に進みます。
2. DMZ ルールを確認します。

**注**

- WAN1-2.5GbE は DMZ ルールのデフォルトインターフェイスとして使用されます。
- 設定済みの各 WAN インターフェイスは、1 つの DMZ ルールが許可されています。

3.



をクリックします。

[DMZ 設定] ウィンドウが表示されます。

4. DMZ ルールのサブネット IP アドレスを指定します。
5. **[適用]** をクリックします。
QuRouter が設定を適用します。
6.  をクリックします。
QuRouter が DMZ ルールを有効にします。

DMZ ルールをリセットする

1. **[NAT/ファイアウォール]** > **[NAT]** > **[非武装地帯 (DMZ)]** に進みます。
2. DMZ ルールを確認します。
3. **[リセット]** をクリックします。

QuRouter が DMZ ルールをリセットします。

Web コンテンツフィルタリング

Web コンテンツフィルタリングは、組織の内部ポリシーに準拠するために、コンテンツへのアクセスを規制し、追跡することを可能にします。コンテンツフィルタリングとセーフサーチは、接続されたクライアントが不適切または有害なコンテンツにアクセスするのを防ぐことができます。ネットワーク管理者は、カスタム Web コンテンツフィルタリングルールを作成し、インターネットアクセスの制限、Web サイトのブロック、接続デバイスへのルールの割り当てを行うことができます。

Web コンテンツフィルタリングルールを追加する

1. QuRouter にログインします。
2. **Web コンテンツフィルタリング**に移動します。
3. **[ロールの追加]** をクリックします。
[ロールの追加] ウィンドウが開きます。
4. ロール設定を行います。

設定	ユーザー操作
ルール名	Web コンテンツフィルタリングロールの名称を指定します。
Web サイトフィルターを有効にする	選択すると Web サイトフィルタリングが有効になり、ユーザーが特定の URL や Web サイトを閲覧するのを停止します。
ドメイン名フィルター	<p>a. ドメイン名または特定の URL を入力します。複数の URL はカンマ (,) で区切ります。</p> <p>b. [追加] をクリックします。</p>
セーフサーチ	<p>有効にすると、以下のサイトで望ましくない露骨なコンテンツを除外します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YouTube <p> 注 次の制限モードから選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 制限中: 成人向けや暴力的なコンテンツを完全にブロックします。 • 中: 露骨な内容や成人向けの内容を部分的に許可します。 <ul style="list-style-type: none"> • Google • Bing

5. **[追加]** をクリックします。

QuRouter が、Web コンテンツフィルタリングロールを作成します。

Web コンテンツフィルタリングロールを設定する

1. QuRouter にログインします。
2. **Web コンテンツフィルタリング**に移動します。
3. ロールを識別します。
4.  をクリックします。
ロールの編集ウィンドウが開きます。
5. ペアレンタルロール設定を行います。
詳細は、[Web コンテンツフィルタリングロールを追加する](#) をご覧ください。
6. **[適用]** をクリックします。

QuRouter は、Web コンテンツフィルタリングの役割を更新します。

Web コンテンツフィルタリングロールを削除する

1. QuRouter にログインします。
2. **Web コンテンツフィルタリング**に移動します。
3. ロールを識別します。

4.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。

5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter は、Web コンテンツフィルタリングの役割を削除します。

デバイスを Web コンテンツフィルタリングロールに追加する



注

1つのデバイスを同時に複数の役割に割り当てることはできません。

1. QuRouter にログインします。
2. **Web コンテンツフィルタリング**に移動します。
3. デバイ스에追加するロールを特定します。
4. **[デバイスの追加]** をクリックします。
[デバイスの追加] ウィンドウが開きます。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[追加]** をクリックします。

QuRouter がそのデバイスを Web コンテンツフィルタリングロールに追加します。

Web コンテンツフィルタリングの役割からデバイスを削除する

1. QuRouter にログインします。
2. **Web コンテンツフィルタリング**に移動します。
3. 削除するデバイスを特定します。
4.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter は、デバイスを Web コンテンツフィルタリングの役割から削除します。

サービス品質 (QoS)

サービス品質 (QoS) は、さまざまなネットワークデバイスとパケットを分類して優先順位を付けることにより、ネットワークトラフィックシェーピングを改善します。QoS は、トラフィックポリシーを設定し、スイッチポート上のそのポリシーを有効化できます。

QoS 設定をするには、デバイスを QuWAN サービスに追加し、QuWAN Orchestrator を用いてその設定を行う必要があります。

QuWAN Orchestrator で QoS を設定する

1. QuRouter にログインします。

2. [QuWAN] > [サービス品質 (QoS)] に進みます。
3. QuWAN Orchestrator での QoS 設定をクリックします。
4. QuWAN Orchestrator にログインします。
5. [QuWAN デバイス] に進みます。
6. リージョンとデバイスを選択します。
7. [QoS] をクリックします。
8. [サービス品質 (QoS)] の下で、[追加] をクリックします。
QoS ルールの追加ウィンドウが表示されます。
9. ルール名を指定します。
10. ルール設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
送信元	<p>このルールの接続元を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて] を指定すると、すべての接続にルールを適用します。 • [定義] を選択することで、このルールで定義されたソースからのトラフィックにこのルールが適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [なし] を選択することで、クライアントのオペレーティングシステムからのトラフィックにルールが適用されます。 ドロップダウンリストからクライアント OS を指定します。 • [IP] を選択すると、単一の IP、特定のサブネット、または特定の範囲のすべての IP からの接続にルールを適用します。
宛先	<p>このルールの接続先を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて] を指定すると、すべての接続にルールを適用します。 • [定義] を選択することで、このルールで定義されたデスティネーションへのトラフィックにこのルールが適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [なし] を選択することで、クライアントのオペレーティングシステムへのトラフィックにルールが適用されます。 ドロップダウンリストからクライアント OS を指定します。 • [IP] を選択すると、単一の IP、特定のサブネット、または特定の範囲のすべての IP からの接続にルールを適用します。 • [ドメイン名] を選択することで、指定のドメイン名にルールが適用されます。
プロトコル	そのルールに対するネットワークトランスポートプロトコルを指定します。

設定	ユーザーのアクション
ポート	<p>サービスポート番号を指定します。 このフィールドは、TCP または UDP プロトコルが選択されている場合にのみ利用できます。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 から 65535 までのポート番号を指定してください。 • 最大 15 のポートを入力します。 • 複数のポートは、カンマ (,) で区切ります。 • ポートの範囲は、スペースを含めずにハイフン (-) を使用して指定します。
アプリケーション	<p>このルールが特定のアプリケーションまたはアプリケーションカテゴリーを許可するかまたはブロックするかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて] を指定すると、すべてのアプリケーションおよびアプリケーションカテゴリーにこのルールを適用します。 • [定義] を選択することで、このルールで定義されたアプリケーションおよびアプリケーションカテゴリー向けのトラフィックにこのルールが適用されます。
アクション	<ul style="list-style-type: none"> • サービスクラス: ドロップダウンリストからサービスクラス優先度を指定します。 • ネットワークステアリング: パケットに関する QoS マーキングに基づいてトラフィックの宛先を決めるバンドステアリングメソッドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動: QuWAN Orchestrator が、トラフィックステアリングに最適な伝送パスを自動的に検出します。 • 直接: トラフィックステアリングのための WAN ポートを手動で選択します。

11. **[作成]** をクリックします。

QuWAN Orchestrator が、QoS ルールを追加します。

9. トラブルシューティング

この章は、基本的なトラブルシューティング情報について解説します。

サポートおよびその他のリソース

QNAP は次のリソースを提供しています。

リソース	URL
マニュアル	https://docs.qnap.com
サービスポータル	https://service.qnap.com
ダウンロード	https://download.qnap.com
コミュニティフォーラム	https://forum.qnap.com

Ping ユーティリティでネットワークの接続をテストする

Ping は、Internet Control Message Protocol (ICMP) クエリメッセージ、ICMP エコーメッセージを使用し、ICMP エコーがデバイスの接続を確認します。

1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[診断]** に進みます。
3. Ping ユーティリティを設定します。
4. 診断ユーティリティとして、**Ping IPv4** を選択します。
5. ドロップダウンメニューから WAN インターフェイスを選択します。
6. IP アドレスまたはドメイン名を指定します。
7. 送受信するエコーリクエストの数を指定します。



注

1~50 の間の数を指定してください。

8. **[Ping IPv4]** をクリックします。

QuRouter が、指定された診断ユーティリティ用のデータを生成します。



ヒント

生成されたデータを QuRouter から消去するには、**[消去]** をクリックします。

Traceroute ユーティリティでネットワークの接続をテストする

Traceroute は、ソースとデスティネーションの間でパケットがどの経路を通るかを調べます。Traceroute は、各 ICMP の時間が超過したメッセージを記録し、パケットがデスティネーションに到達するまでの経路のトレースを生成します。

1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[診断]** に進みます。
3. Traceroute ユーティリティを設定します。

4. 診断ユーティリティとして、**[Traceroute]** を選択します。
5. ドロップダウンメニューから WAN インターフェイスを選択します。
6. IP アドレスまたはドメイン名を指定します。
7. **[Traceroute]** をクリックします。

QuRouter が、指定された診断ユーティリティ用のデータを生成します。



ヒント

生成されたデータを QuRouter から消去するには、**[消去]** をクリックします。

ルーターの問題を解決するために、QNAP リモートサポートを利用する

リモートサポートにより、QNAP カスタマーサービスチームは、ルーターに関連した問題にアクセスし、支援することができます。

1. QuRouter にログインします。
2.  をクリックします。
3. **[QNAP リモートサポート]** をクリックします。
QNAP リモートサポートウィンドウが表示されます。
4. サポートチケットを作成します。
 - a. **[サポートチケットを作成する]** をクリックします。
ブラウザで、QNAP カスタマーサービスサイトが開きます。
 - b. **[サインイン]** をクリックします。
 - c. QNAP ID とパスワードでログインします。
 - d. **[サポート]** をクリックします。
 - e. **[サポートチケットの作成]** をクリックします。
サポートチケットの作成ページが開きます。
 - f. チケットの設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
デバイスのシリアル番号	ドロップダウンメニューから登録済み製品のシリアル番号を選択します。  ヒント ご自分の QNAP ID で登録されていないデバイス シリアル番号も入力できます。
モデル	デバイスのモデル番号を入力します。  注 モデル番号は、デバイスシリアル番号の選択が入力されている場合は、自動的に入力されます。
ファームウェア	ファームウェアのビルド番号を入力します。

設定	ユーザーのアクション
クライアントデバイス	ドロップダウンリストから、クライアントデバイスのオペレーティングシステムを選択します。
問題のタイプ	以下の中から選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ハードウェアの障害 ソフトウェアの問題
デバイスタイプ	ドロップダウンメニューから [スイッチ/ルーター] を選択します。
問題	問題のタイプを選択します。
題名	問題を説明する題名を指定します。
説明	ルーターの問題を 0~1000 文字で説明します。 <div style="border-left: 2px solid orange; padding-left: 10px; margin-top: 10px;">  ヒント <ul style="list-style-type: none"> 画像やログファイルは、35 MB まで可能です。 診断ログをダウンロードするには、[システム] > [イベントログ] に進み、[エクスポート] をクリックします。 </div>

g. ご自身の連絡先情報を確認します。

h. **[メッセージを送信]** をクリックします。

QNAP カスタマーサービスが、サポートチケット ID を含む QNAP ID にメールを送ります。

5. カスタマーサービスチームからのリモート接続を許可します。

a. QuRouter にログインします。

b.  をクリックします。

c. **[QNAP リモートサポート]** をクリックします。
QNAP リモートサポートウィンドウが表示されます。

d. サポートチケット ID と QNAP ID を入力します。

e. **[次へ]** をクリックします。
サービス利用条件ウィンドウが表示されます。

f. 利用規約を読み、これに同意します。

g. **[次へ]** をクリックします。
QuRouter が、QNAP カスタマーサービスチーム用に一時アカウント、パスワード、プライベートキーを作成します。

h. **[確認]** をクリックします。

QNAP カスタマーサービスチームが、ルーターへのリモート接続を確立します。

10. 用語集

myQNAPcloud

DDNS や myQNAPcloud Link などの、さまざまなリモートアクセスサービスを提供します

QNAP ID

myQNAPcloud リモートアクセスおよびその他 QNAP サービスを利用できるユーザーアカウント

Qfinder Pro

お客様のローカルエリアネットワーク内にある QNAP デバイスを見つけ、アクセスできるようにする QNAP ユーティリティです。

QuRouter

これは QNAP ルーターの表示と設定を可能にする QNAP Web 管理インターフェイス

QuWAN

QNAP SD-WAN 管理システム

QuWAN Orchestrator

QNAP SD-WAN インフラストラクチャ向けの集中化された管理クラウドプラットフォーム

11. 注意

この章では、保証、免責事項、ライセンス、連邦規制についての情報を提供します。

限定保証

QNAP は同社の製品に対して限定保証を提供します。ご利用の QNAP ハードウェア製品は、材質や組み立ての不良に対し、請求書に印刷された日付から一年間あるいはそれ以上の期間保証が受けられます。("保証期間")。法的権利については、www.qnap.com/warranty をご覧ください。この内容は QNAP の裁量で適時修正されます。

免責事項

本文書に含まれる情報は、QNAP Systems, Inc. の製品 ("QNAP") に関連し提供されます。明示的か黙示的かを問わず、禁反言の法理その他により、本文書によっていかなる知的財産権も使用許諾されません。かかる製品に対する QNAP の販売条件で定められている場合を除き、QNAP は QNAP 製品の販売や使用に関し、特定目的への適合性、商品性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権に関する責任や保証を含むいかなる責任も負わず、QNAP は明示または黙示の保証を否認します。

QNAP 製品は、医療、救命、生命維持、臨界制御または安全施設、核施設用途での使用を前提としていません。

いかなる場合も QNAP の責任は直接的、間接的、特別、偶発的、または必然的なソフトウェアまたはそのマニュアルに由来する製品の対価を超えることはありません。QNAP は、その製品もしくはコンテンツまたは本書の使用および付随するすべてのソフトウェアに関して明示、黙示、または法定上の保証または表明を行いません。特に、品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に対する責任を否認します。QNAP は、いかなる個人または事業者に対する通知義務なく製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改定または更新する権利を保持します。

起こりうるデータ損失を避けるため、定期的にシステムをバックアップしてください。QNAP は、いかなるデータの損失または復元についても一切の責任を放棄します。

QNAP 製品パッケージのいずれかのコンポーネントを返金または保守のため返品する場合は、必ず運送用に丁寧に梱包してください。不適切な梱包によりいかなる形の損傷が生じても補償されません。

すべての特長、機能、およびその他の製品仕様は事前の通知または義務なく変更することがあります。本書に含まれる情報は、通知なく変更することがあります。

すべての特長、機能、およびその他の製品仕様は事前の通知または義務なく変更することがあります。本書に含まれる情報は、通知なく変更することがあります。

また、本文では ® や ™ の記号が使用されていません。

CE 通知



この QNAP デバイスは、CE コンプライアンスクラス B に準拠しています。

FCC 通知

FCC クラス B 通知



本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されま

す。

1. この機器は有害な干渉を起こしてはならない。
2. この機器は、誤動作の原因となる干渉であっても、あらゆる干渉に甘んじなければならない。



注

本機はテストされ、FCC 規則パート 15 に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠することが認められました。これらの制限は、住宅地に設置する場合に危険な干渉を合理的に保護するよう設計されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、使用、放射します。指示に従わずに設置し使用すると、無線通信に危険な干渉を引き起こすことがあります。しかしながら、特定の設置では干渉が発生しないという保証はありません。本機が無線またはテレビの受信に危険な干渉を引き起こす場合、それは本機の電源をオフ/オンにすると判断できますが、次の対策の 1 つ以上を行うことで干渉の修正を試みるようお願いいたします。

- 受信アンテナの方向または場所を変える。
- 本機と受信機の間をさらに離す。
- 本機を接続するコンセントを、受信機が接続されているコンセントと回路が異なるコンセントに接続する。
- 販売店または経験を積んだ無線またはテレビ技術者に相談する。



重要

QNAP Systems, Inc. からの許可を受けることなく、本装置に承認されていない改造が行われた場合には、FCC からユーザーに与えられた本装置を操作する権利が規制される場合があります。

Radio Equipment Directive (RED) 2014/53/EU Article 10



RED 2014/53/EU は、EU 内の特定の国で問題が発生する可能性のある製品に対しては、製品文書で制限を列挙しなければならず、包装にはその国の規定を示すラベルを添付する必要があります。

この QNAP ルーターは、RED 2014/53/EU article 10 に準拠しています。

EU RoHS ステートメント

本装置は、電気・電子機器における特定の有害物質の使用規制に関する EU RoHS の指令 2011/65/EU に準拠しています。この指令は電気・電子機器における、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル (PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) の使用に適用されます。

ISED 準拠ステートメント

カナダ産業省はイノベーション・科学・経済開発省 (ISED) と名称が変わり、RSP-100 Issue 11 と DC-01 Issue 06 を発行しました。以前はカナダ産業省が発行していた機器認定は引き続き有効で、更新は不要です。したがって文書中ではその名称が混在して使用されている場合があります。以下のステートメントは、イノベーション・科学・経済開発省 (ISED) との認可を受けている ASiR-pRRH に適用されます。この機器は、カナダ産業省の ICES-003 ライセンス免除 RSS に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます。

1. この機器は干渉を起こしてはならない。
2. この機器は、機器の誤動作の原因となる干渉であっても、あらゆる干渉を許容しなければならない。

放射線曝露ステートメント

この製品は、制御されていない環境に対して規定された IC 放射線曝露に準拠しています。RSS 102 RF 曝露準拠要件に準拠するためには、このデバイスのアンテナとすべての人との間に少なくとも 27cm の分離距離を維持する必要があります。5150-5350 MHz 帯のデバイスは、同一チャンネルモバイル衛星システムとの有害な干渉の可能性を減じるため、室内でのみ利用できます。

UKCA 通知



このデバイスは、英国で販売されている製品の UKCA 要件に準拠しています。